

俺
が
雌
に
し
ま
す
3

勝
ち
気
な
母
親



これまでのあらすじ

会社の自宅を往復する毎日を過ごしていた善野。転職してきた柊とバディとなったことをきっかけに、徐々に親密な仲に。その後、婚約者となる。

その後、仕事に追われる日々の中で、二人の関係は安定していたものの、夜の営みはすっかりご無沙汰になっていた。

そんなある日、仕事が一段落したことを機に、柊は「お礼」として善野を〇どもを交えた家族旅行へと誘う。

二人にとっては初めての「家族旅行」。柊の〇どもとともに、楽しい時間を過ごすことで、善野は「父親」としての自分の役割を実感していく。

そして旅行の夜、〇どもが寝静まった後——。静かなホテルの一室で、二人だけの時間が訪れる。

登場人物



善野 正太郎(35)

会社員・法人営業。柘真紀の婚約者。会社と自宅を往復する毎日だったが、転職してきた柘真紀とバディになったことをきっかけに、徐々に親密な仲に。その後、婚約者となる。勝ち気で無理をしがちな真紀を心配しており、声をかけたが、柘真紀の怒りを買ってしまう…



柘 真紀(34)

会社員・法人営業。善野正太郎の婚約者。一児の母。元夫の不倫が原因で離婚。以降、男性嫌いになる。責任感が強く仕事はできるが、性格難のため会社を転々としていた。ハラスメントに敏感で、自身のデカ乳に視線が集まるたびにセクハラ認定している。

シングルマザーで息子・息子の将来のために仕事熱心であり、勝ち気な性格から善野正太郎と喧嘩をしてしまう…

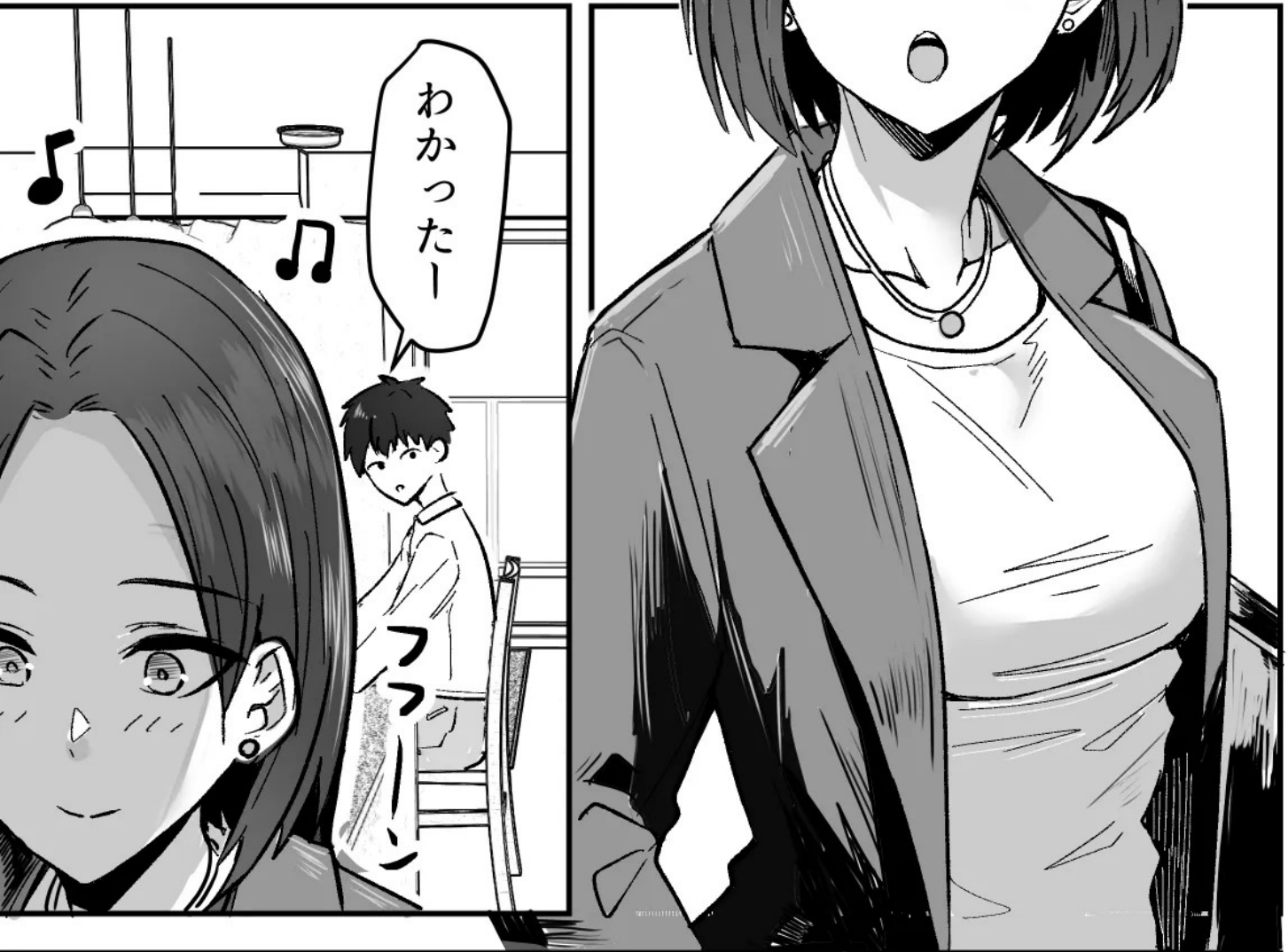


橘圭介(45)

柘真紀の元夫。柘・善野の取引先の代表取締役社長。取引先企業に柘真紀がいることを知り、仕事を依頼する。




今日は遅くなるから
正太郎と先に
ご飯食べててね




わかったー




母さんは
よく笑うように
なった



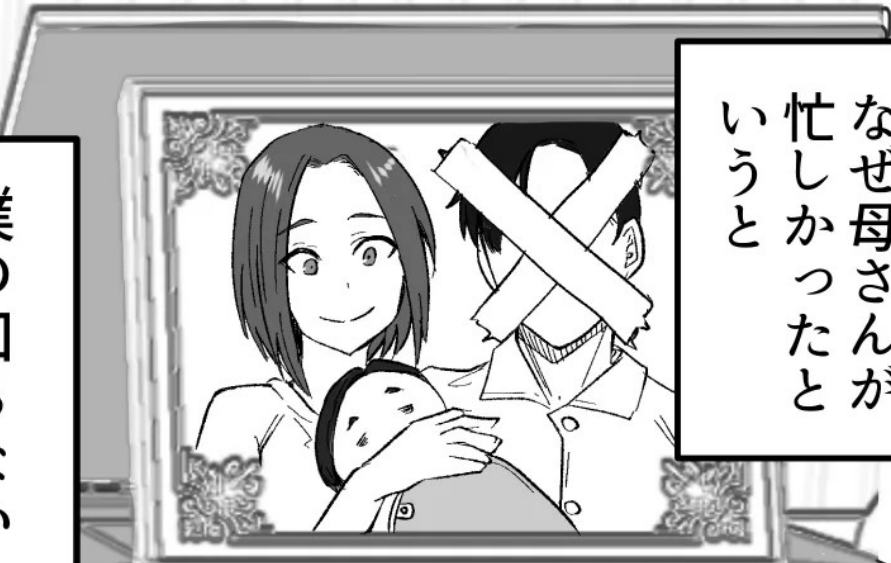
以前の母さんは
いつも忙しそう
で疲れた顔ばかり
していた



ただいま…



僕のために
必死に
働いてたからだ



なぜ母さんが
忙しかったと
いうと

僕の知らない
お父さんが

他の女の人と
仲良くしてた
ことが原因らしい



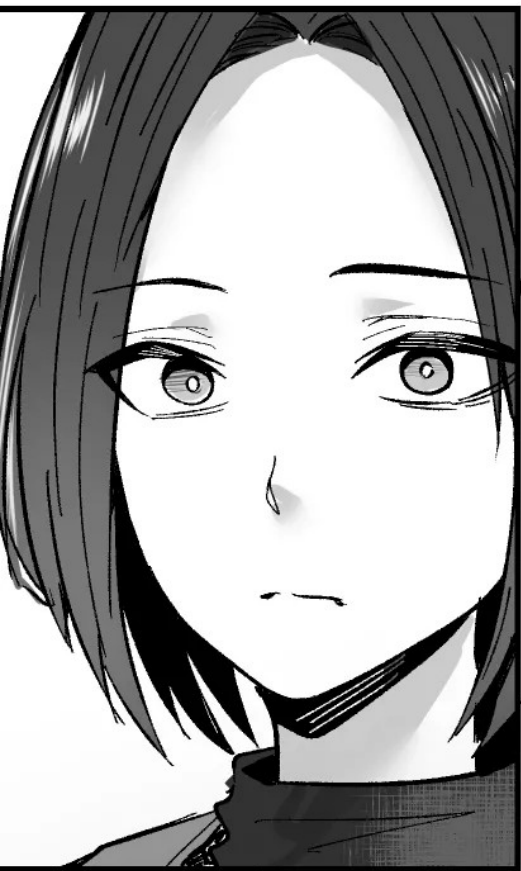
お手洗い
行ってきます

はい



柘真紀です
よろしく
お願いします

そのせいで
男の人をあんまり
信用できなくなつて



今度こそ
この職場で
...!



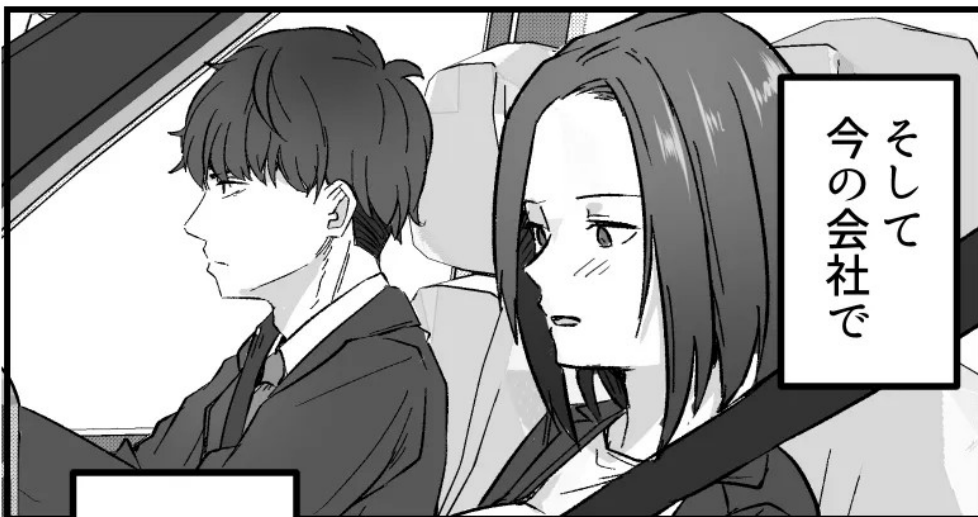
見た？
柘さんの乳

デカすぎだろ
抱きて〜

このまま
酔わせて
ホテル直行だなW



仕事が続かなかつたみたい



そして今の会社で



正太郎と会ってから



それから母さんが何度も転職したことを覚えてる

母さんは変わった

これまで
見たことがない
母さんに――

夜になると母さんは
正太郎と楽しそうに
じゃれ合っている

あゝゝゝ

あゝゝゝ

まるでプロレス
みたいだ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝゝゝ

あゝ

あゝ

あゝ

母さんに
あんな一面が
あるなんて――

あゝゝゝ

あゝゝゝ

あゝゝゝ

あゝゝゝ

母さんは
いつも負けてて
大声で叫んで
いるのが

僕の部屋まで
聞こえてくる

アッ
アッ
アッ

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

絶頂っ
ちゃった…♡

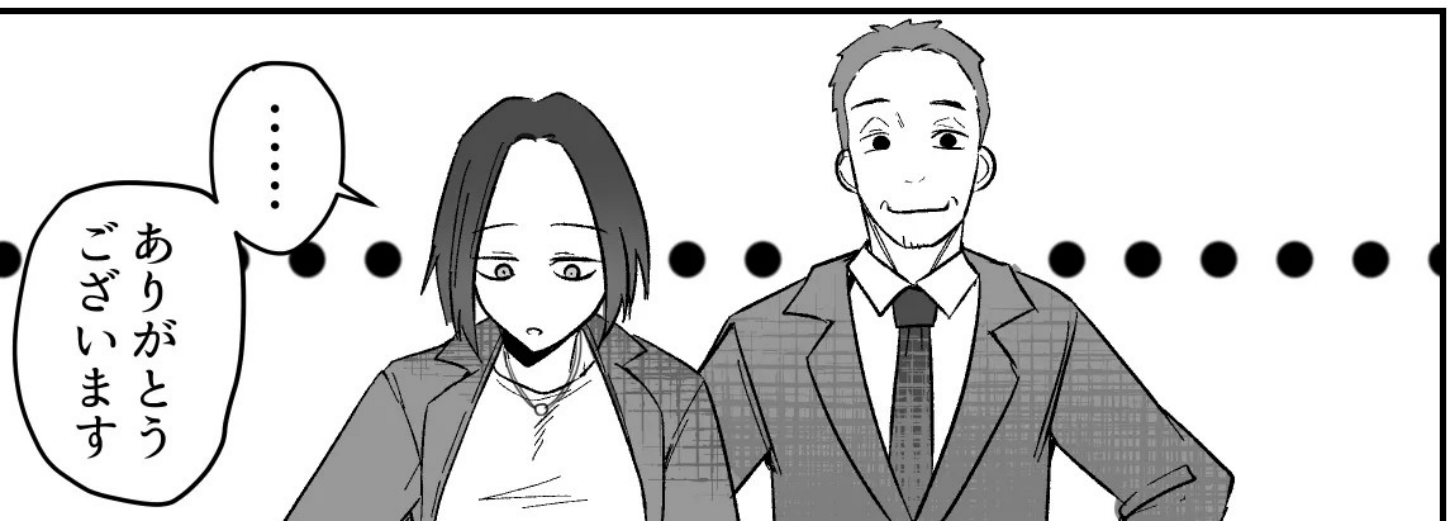
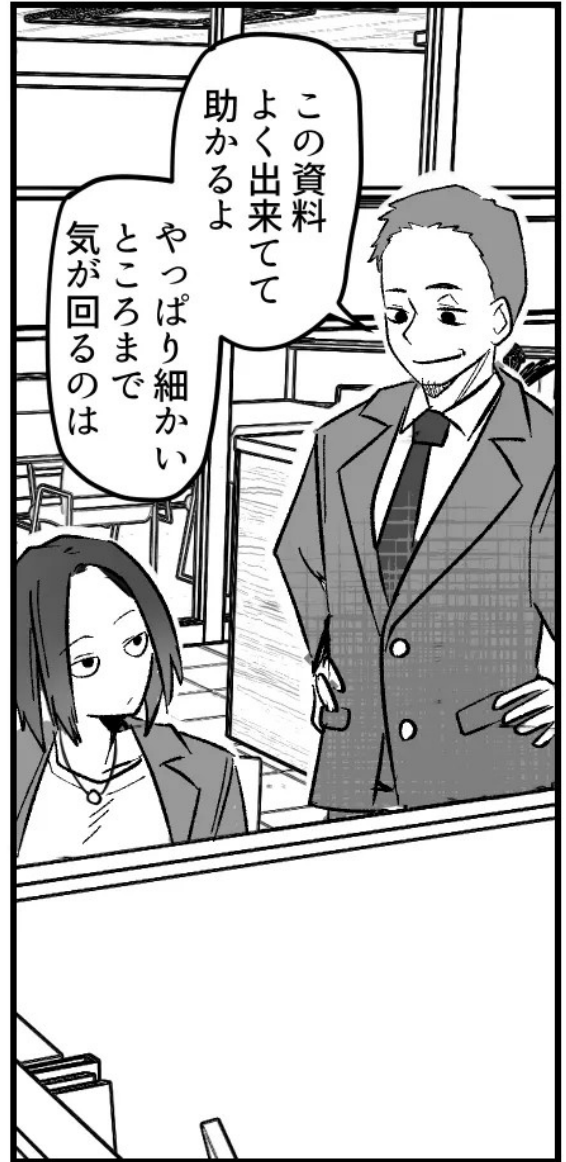
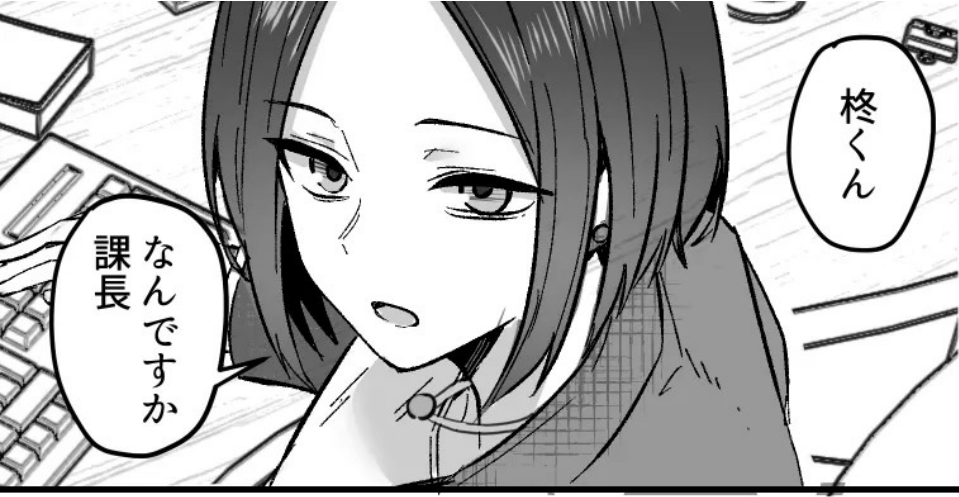
いつも「勝ち気」な
母さんだけど
正太郎が相手だと
弱いらしい



そんな声を
聞いていると



おちんちんがムズムズ
してくるのは
何でなんだろう……





それにしても
最近雰囲気
変わったよね？

なんか……
柔らかくなった
っていうか

色気が出てきた
っていうか？



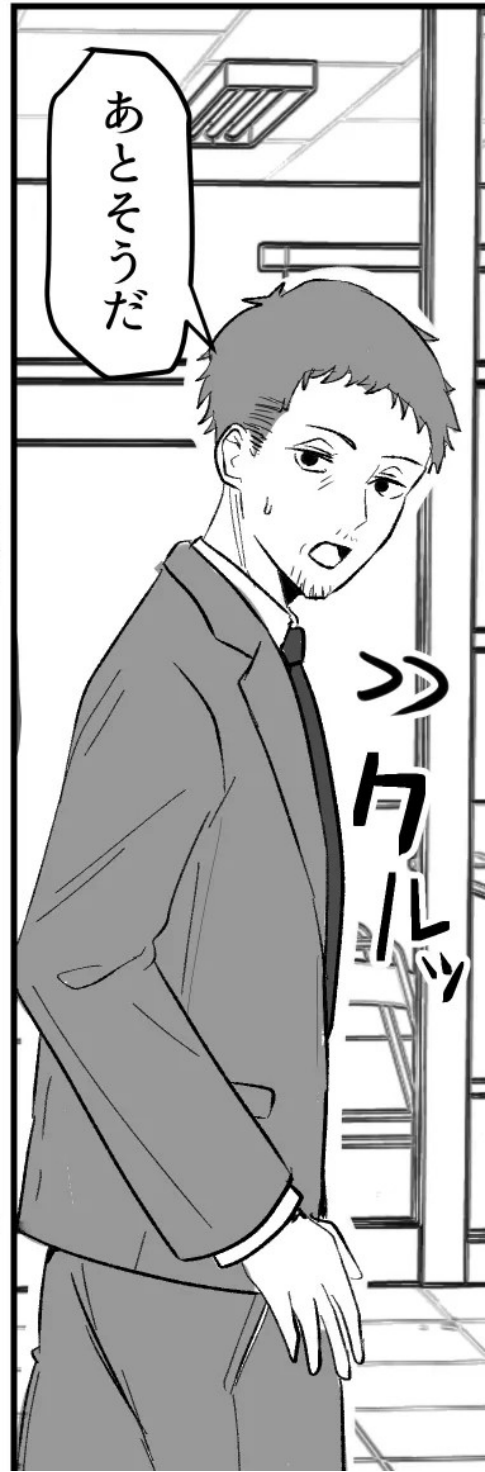
男って
そういうのに
弱いんだよね

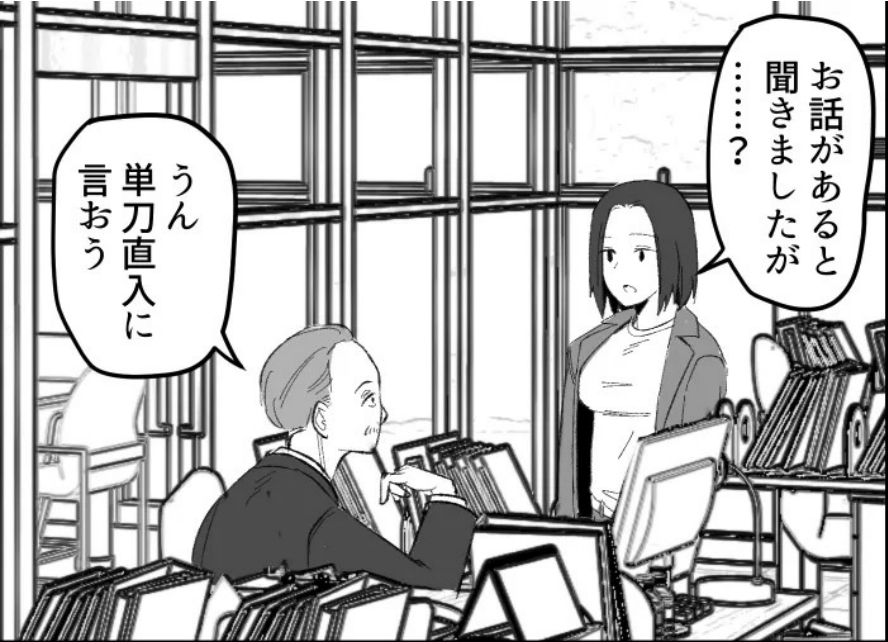


ほら
前はちよつと
ピリピリ
してたけどさ

やっぱり女性は
笑顔が一番だよ





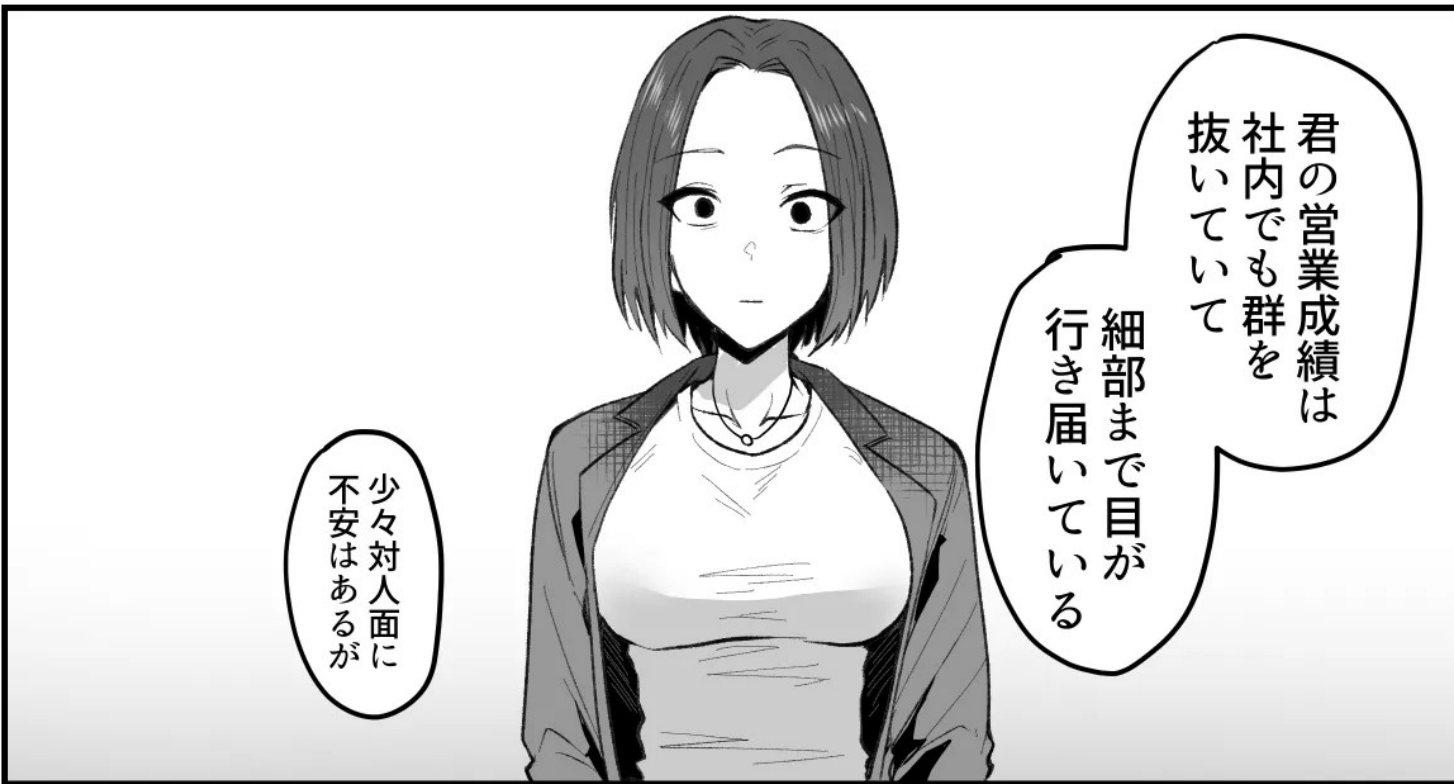




君にしか
頼めないんだよ



あの大型案件
ですか……!!
なぜ私に？



君の営業成績は
社内でも群を
抜いていて
細部まで目が
行き届いている

少々対人面に
不安はあるが



それに……
正直なところ

このプロジェクトを
成功させるには
君の突破力が
必要だと考えている

Tachibana Industries
事業推進企画書

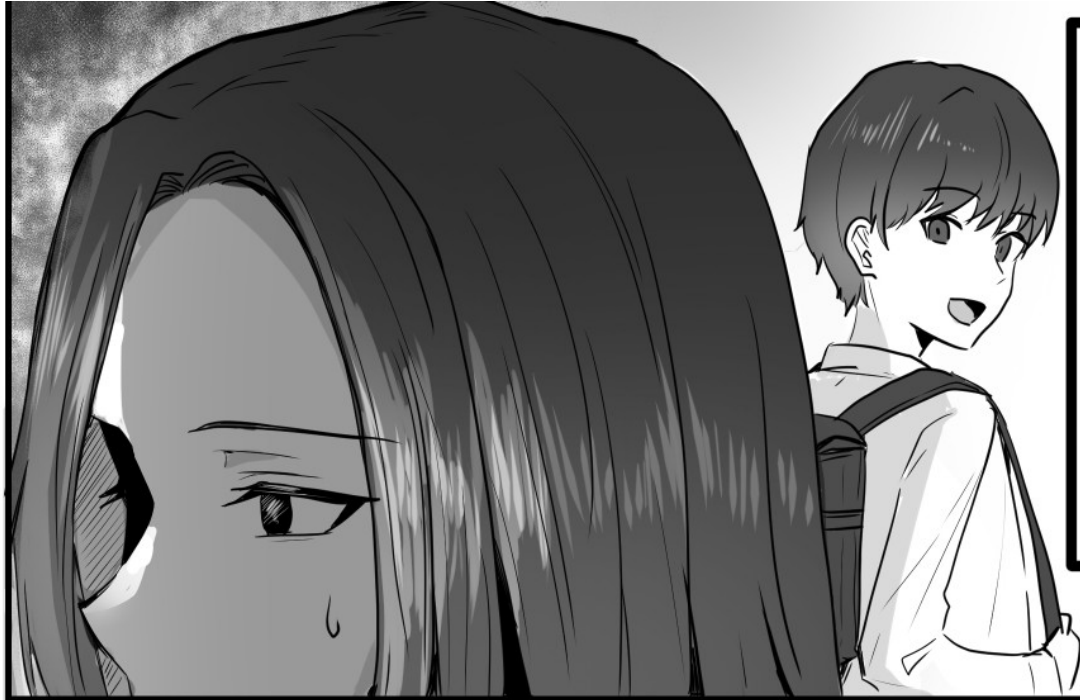
私が……？
そんな重要な
案件を……？

……

それにね
この大型案件が
成功した暁には

課長職の
ポジションを
用意しようと
思っている

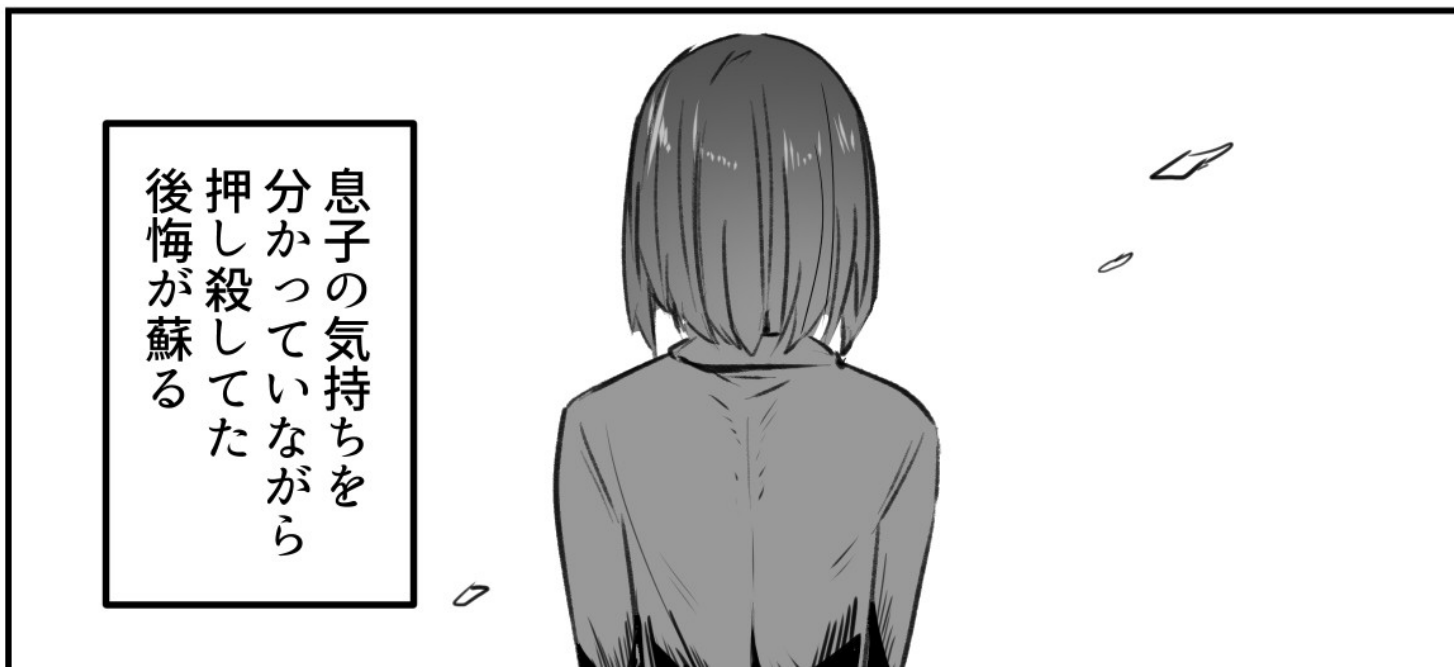
課長職……！



終は仕事に
追われる日々の中
常に頭の片隅には
息子・勇斗の
ことがあった



離婚が原因で
息子には辛い思い
をさせしまった
自覚が強いからだ



息子の気持ち
を分かっていながら
押し殺してた
後悔が蘇る

さびしい思いは
もうさせたくない……

今は正太郎もいる

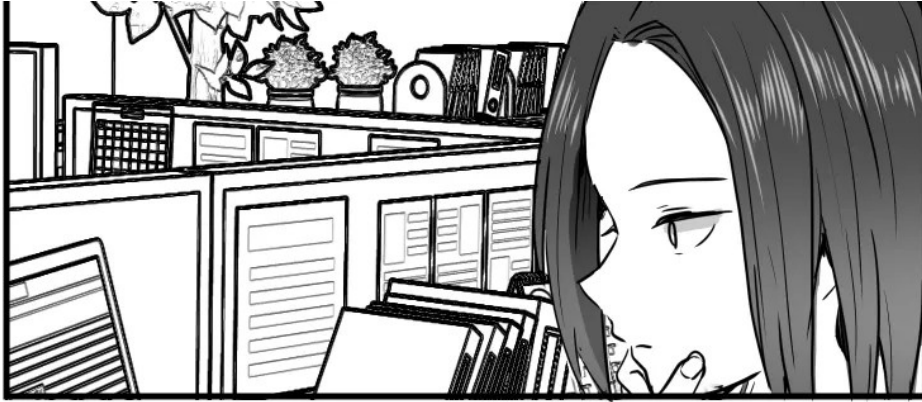
もつと収入が
増えれば
勇斗の将来の
選択肢が広がる



務めさせて
いただきます

絶好^{チヤンス}の機会だ

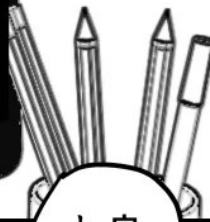
期待してるよ



新規の
大型案件

取引先の社長への
コンペがある

まずは
事前に調査チームが
まとめた資料に
目を通しておこう――



良い資料ね
よくまとまってる

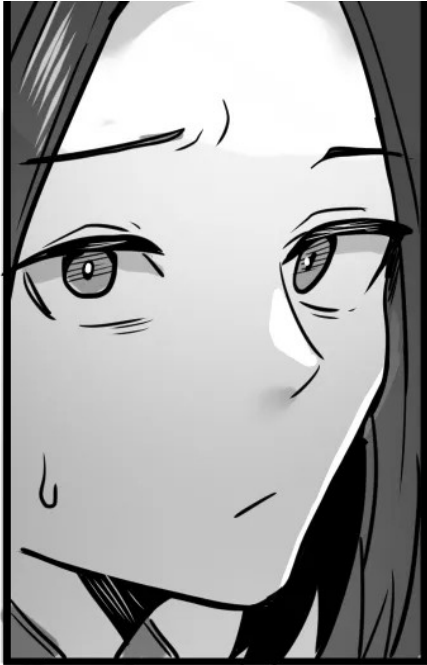
競合企業の
提案に負けない
ようにしないと――



代表取締役社長
橋 圭介

カキッ





……仕事だから



元夫か？



俺が担当
変わるうか？

仕事も
やりづらい
だろ？



これは私の
仕事だから……!



真紀、無理して

私はこの仕事を
成功させなきゃ
いけないの

転職を繰り返してきた
私にとって
今の職場で
成功すること
チャンスで……



それに
勇斗を育てる
ためにも
もっと収入を
増やさないと……

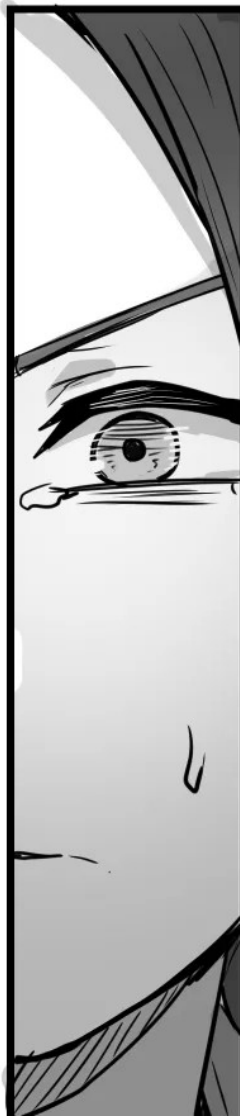


だから……
この機会は
絶対にしたい



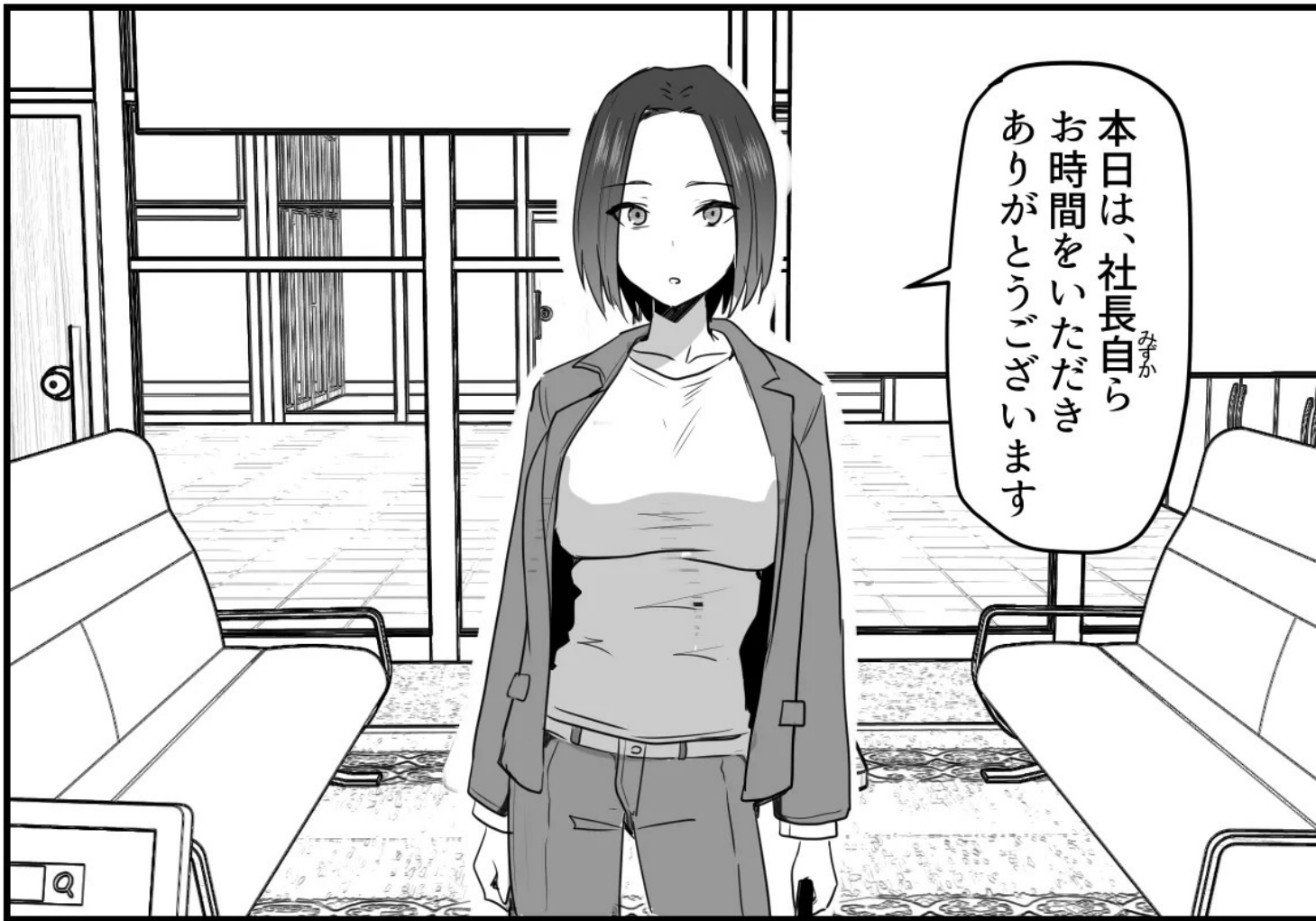
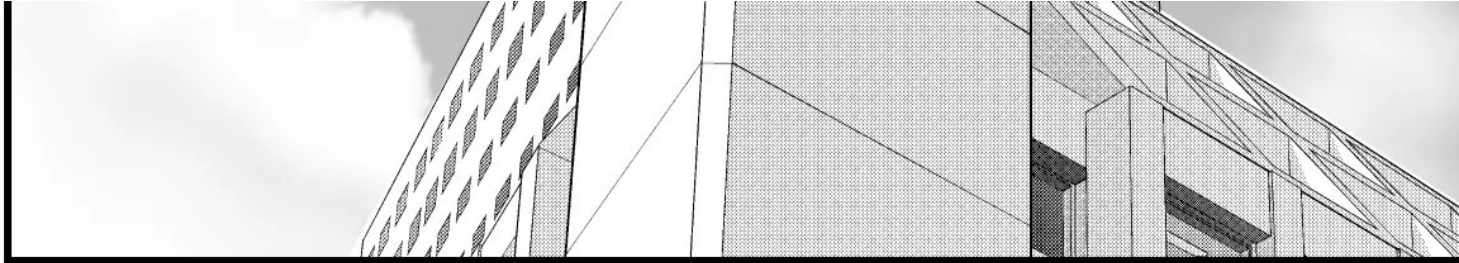
私にこの仕事が
できないって
言いたいの？

俺だって勇



無理する
なよ……



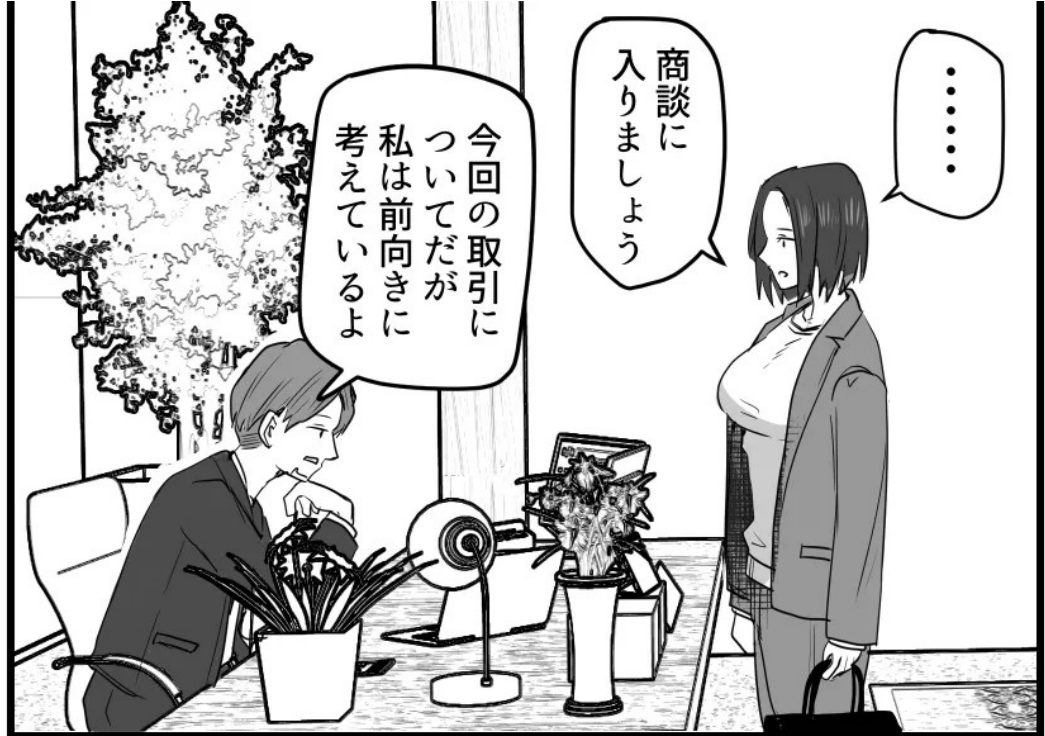


本日は、社長自ら^{みずか}
お時間をいただき
ありがとうございます



いや
こちらこそ

久しぶりだね
真紀



今回の取引についてだが
私は前向きに考えているよ

商談に
入りましょう

.....

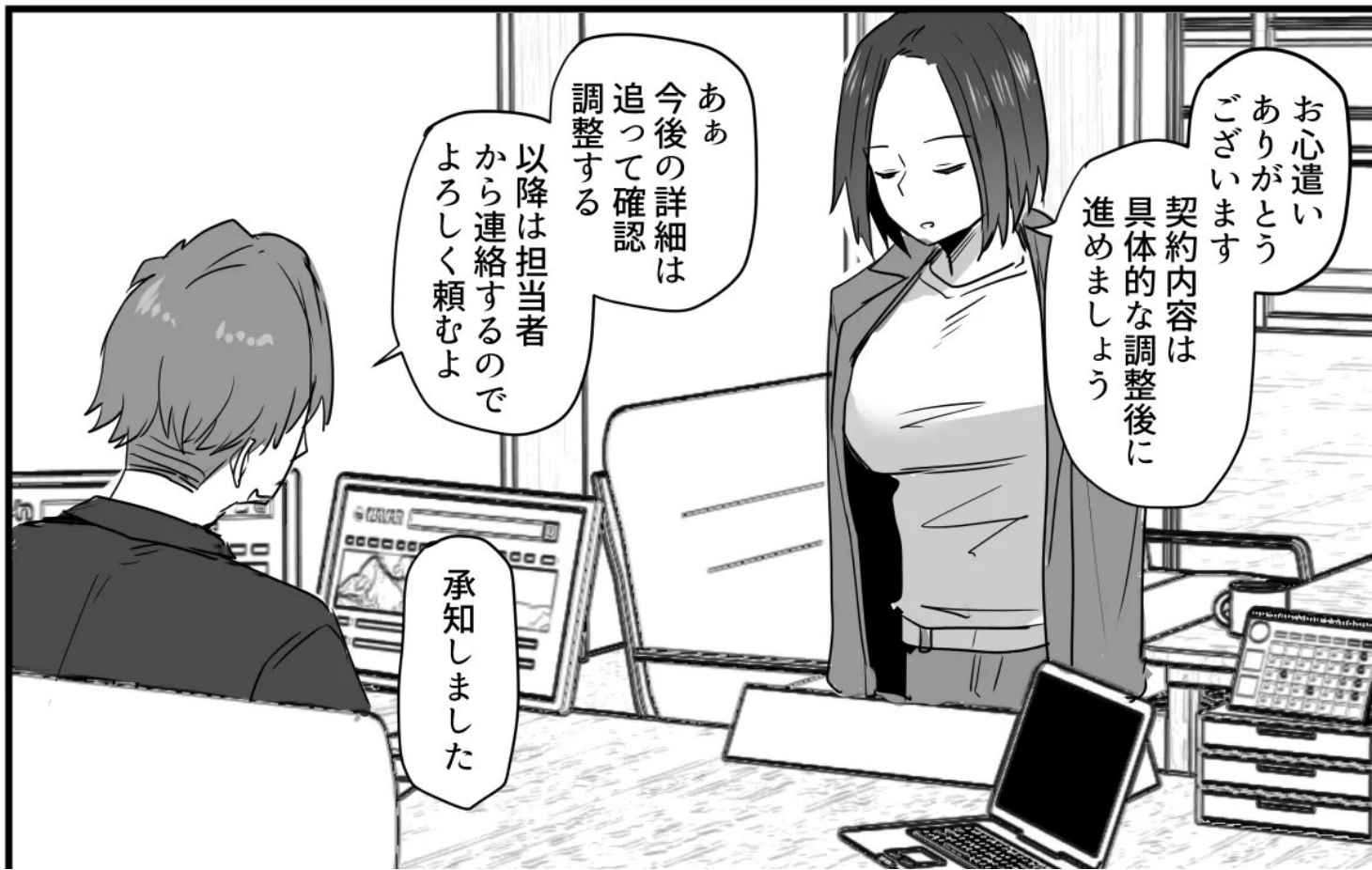


手応えはあり
前向きな回答が
得られた



だが――

彼の言葉の端々に
何か意図的な
ものを感じる

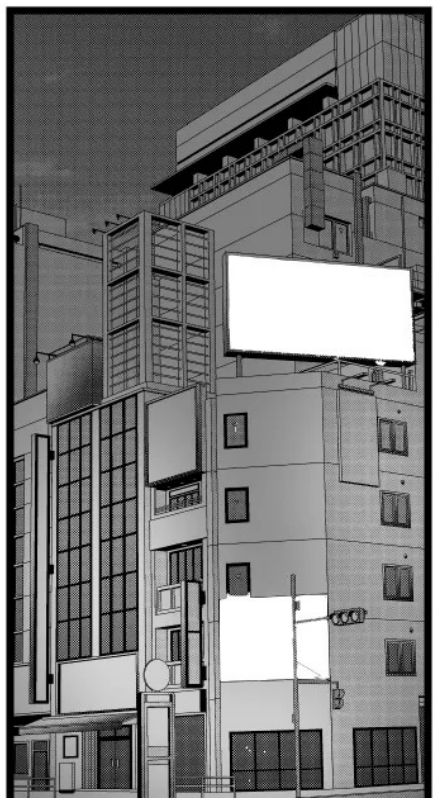





.....やっぱり
変わってない




今回は何も
なかつたけど
嫌な予感
がする.....



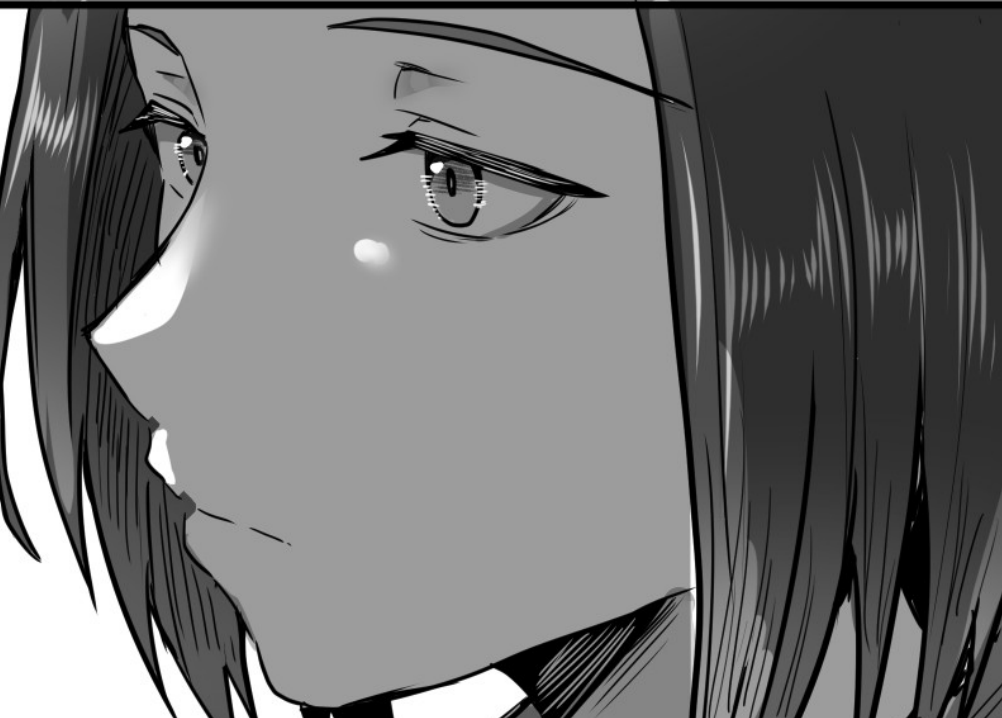


コンペは終わった
上手くいきそうだ

それなのに
心が晴れない



私にこの仕事か
できないって
言いたいのか？



正太郎は
私を心配してくれた
だけなのに

あんな言い方
する必要なかった
よね……



いつも私のことを
気にかけてくれる

手伝うから
どこまで
やったか教えて

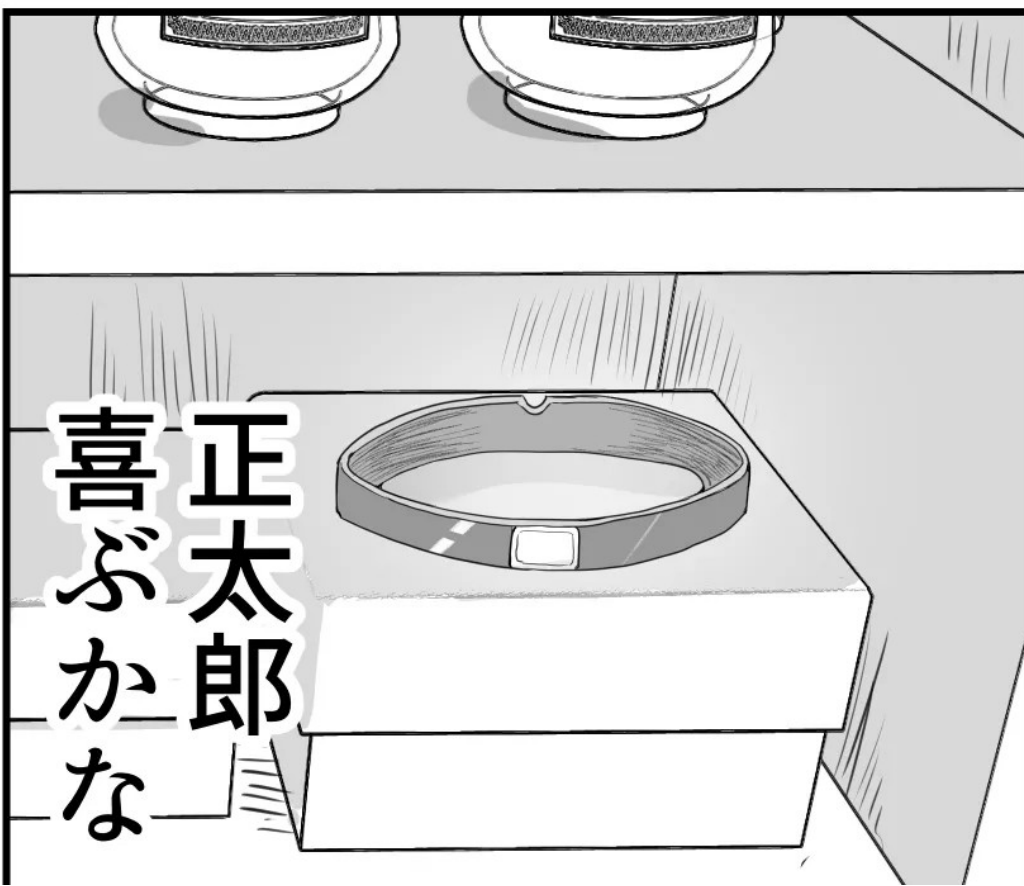
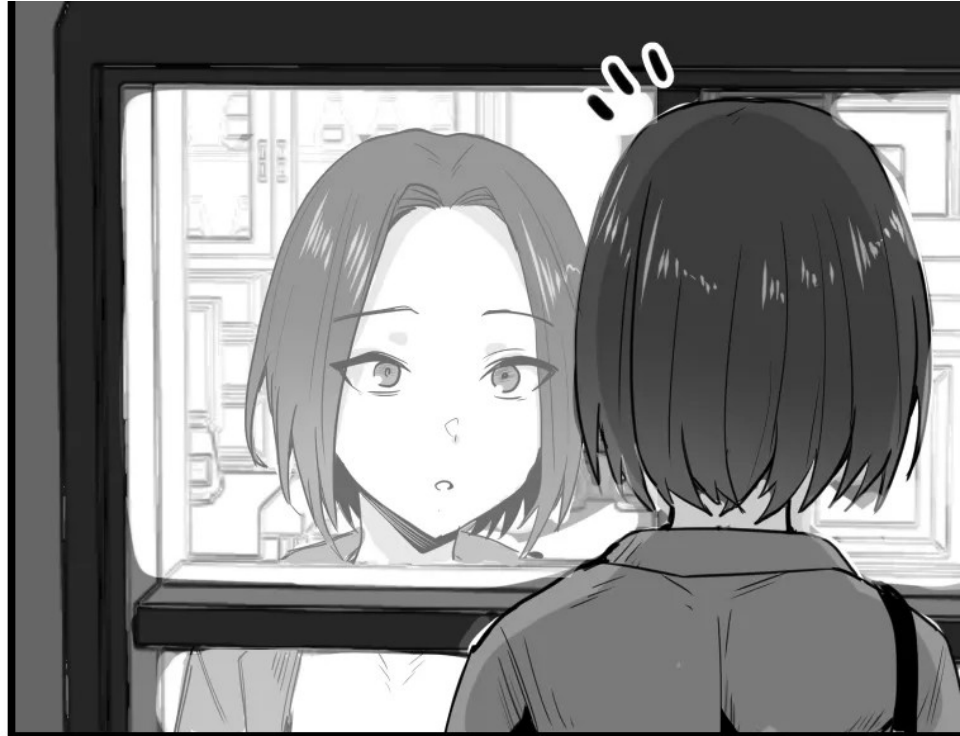
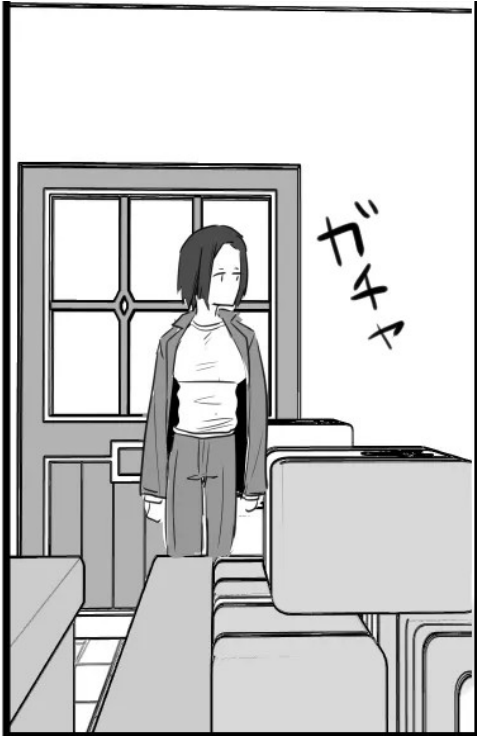
勇斗には
ご飯食べさせて
寝かせておいた

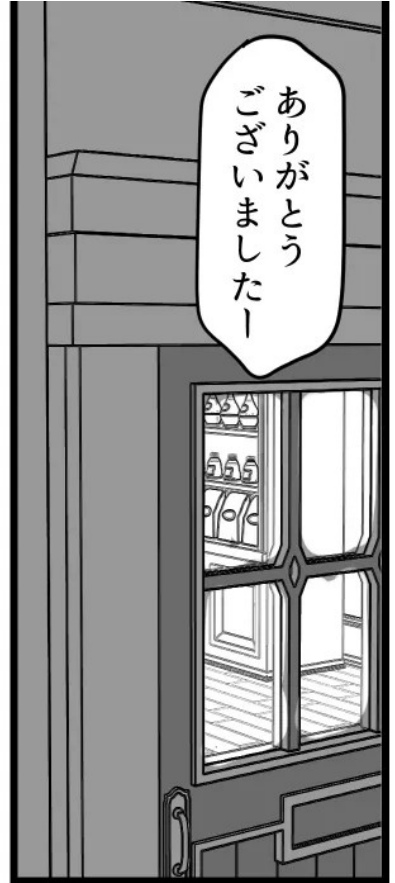
あ……うん

仕事でも
私が無理をしすぎない
ようにフオロー
してくれて



それなのに……
私は――





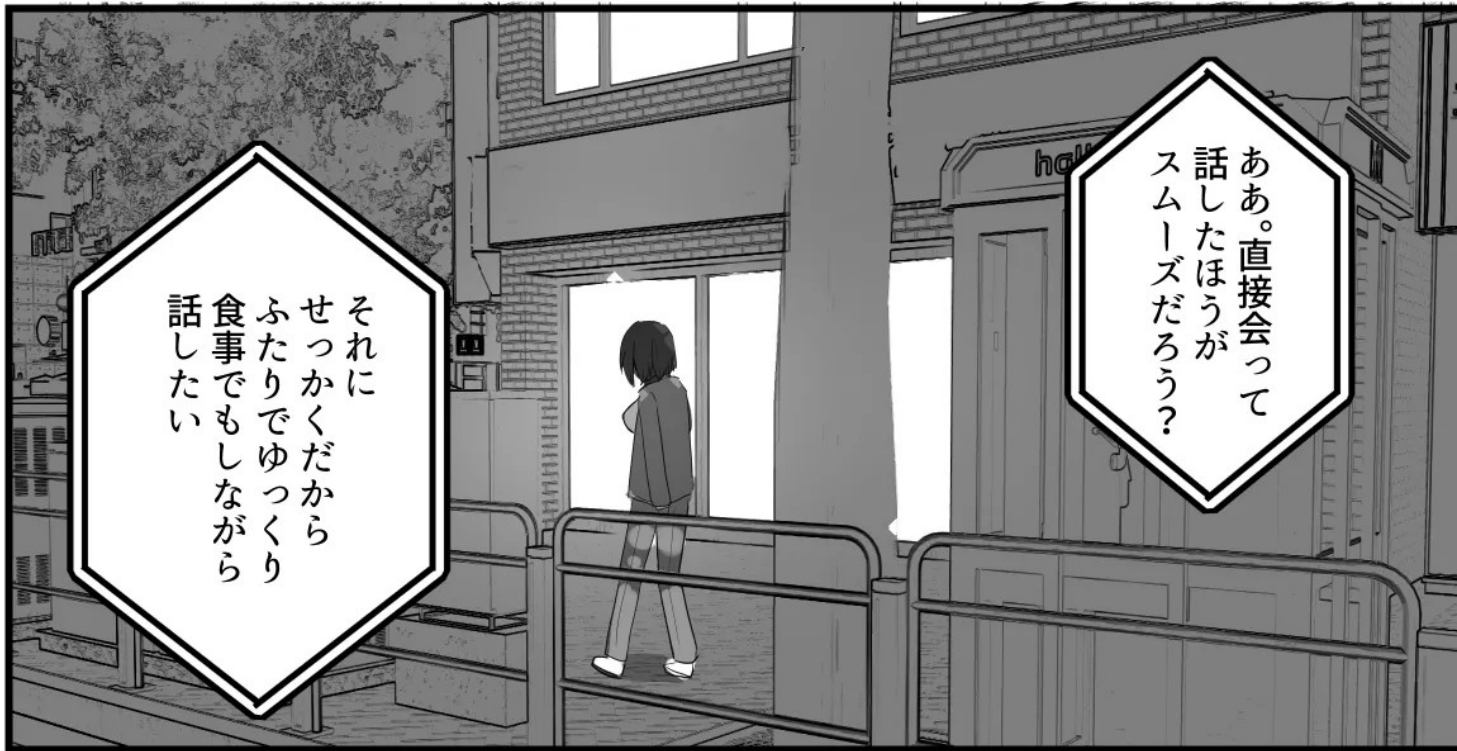


さっきの提案
よく考えたんだけど
細かい条件を
もう少し詰めたい
と思っただけ

細かい条件……
ですか？

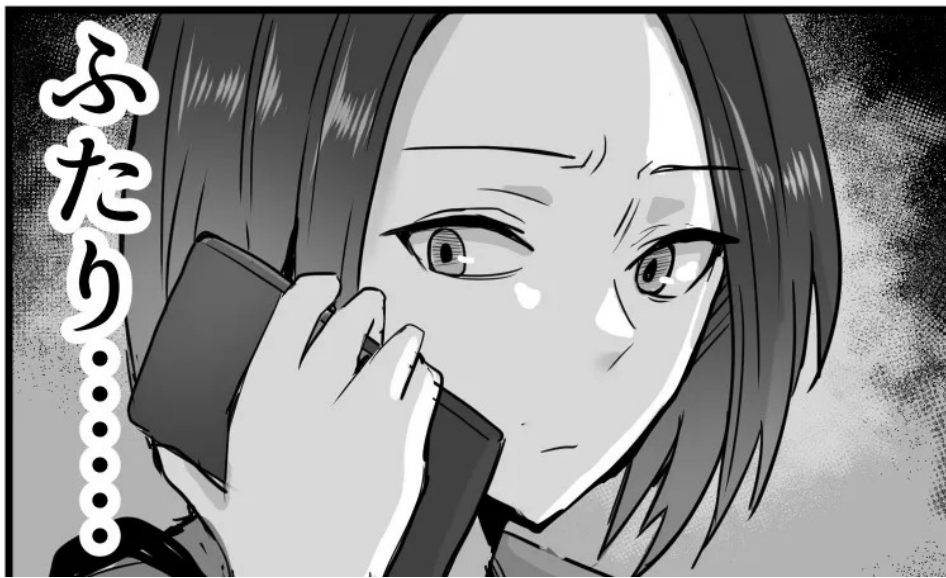


打ち合わせ後に
すまないね



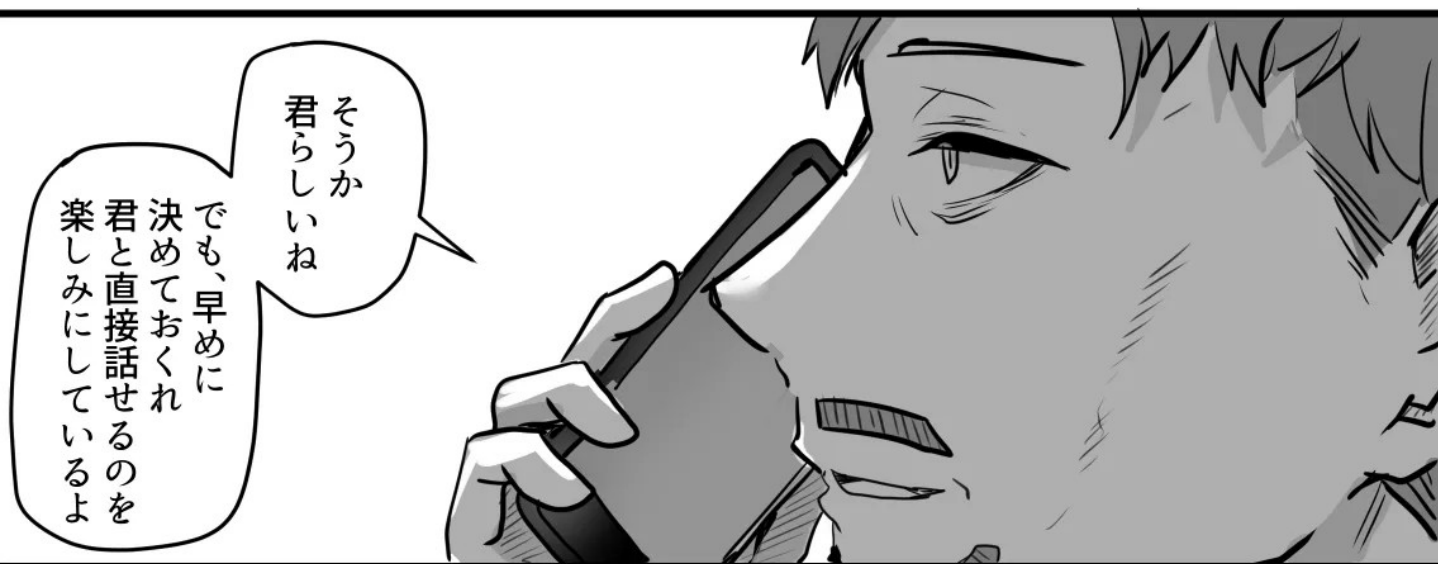
ああ。直接会って
話したほうが
スムーズだろう？

それに
せっかくだから
ふたりでゆつくり
食事でもしながら
話したい



ふたり……

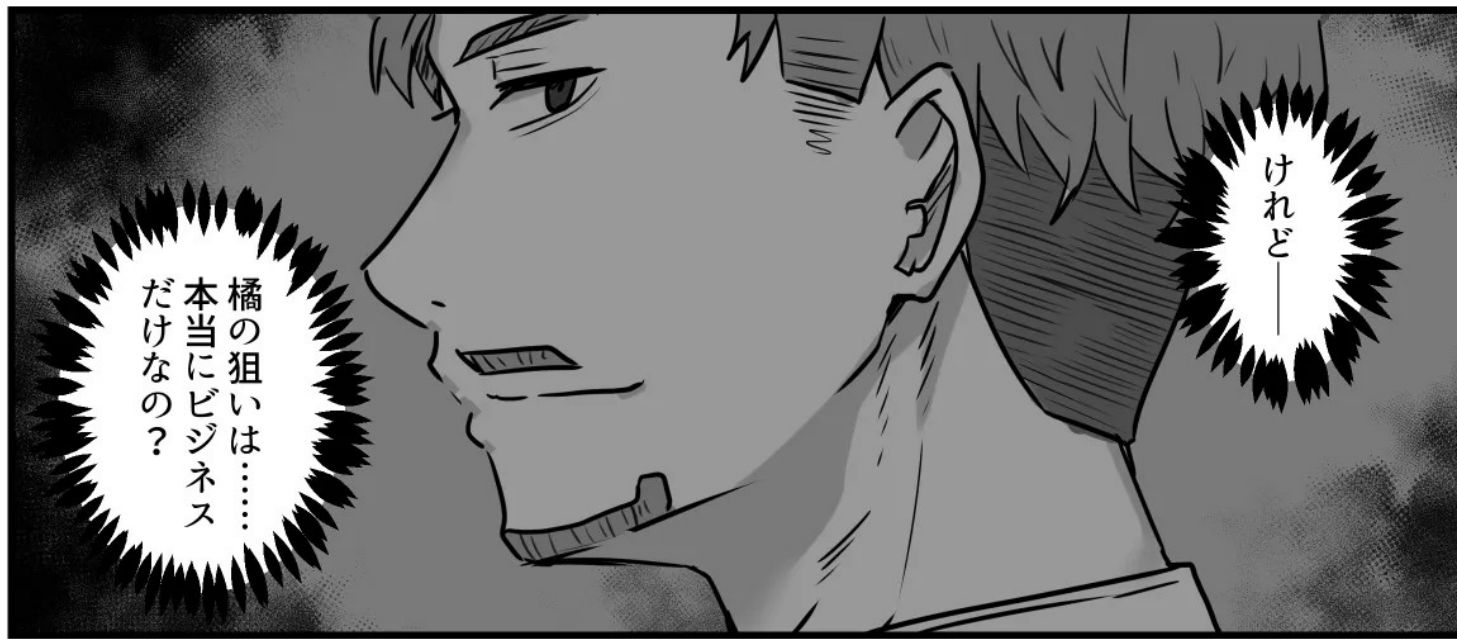






会社はこの取引に
期待している

これを成功させれば
課長職への昇進もある



けれど――

橘の狙いは……
本当にビジネス
だけなの？





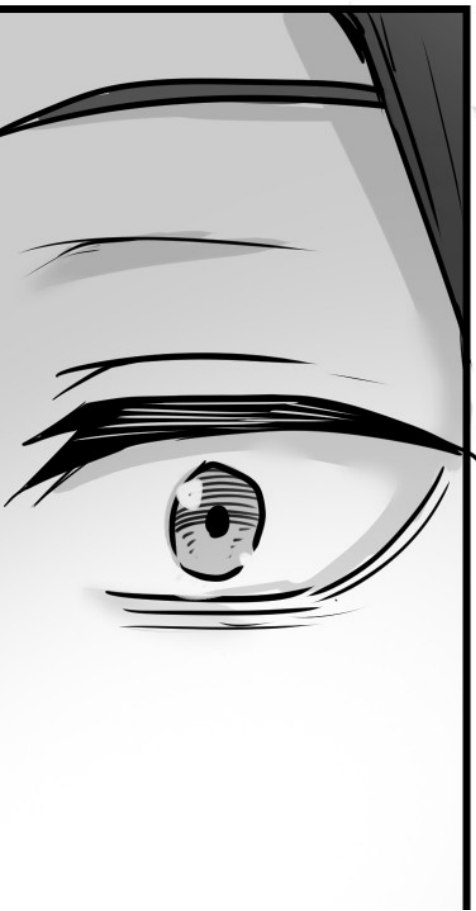
会社からの
帰り道：
これから
電車乗る

今どこだ？

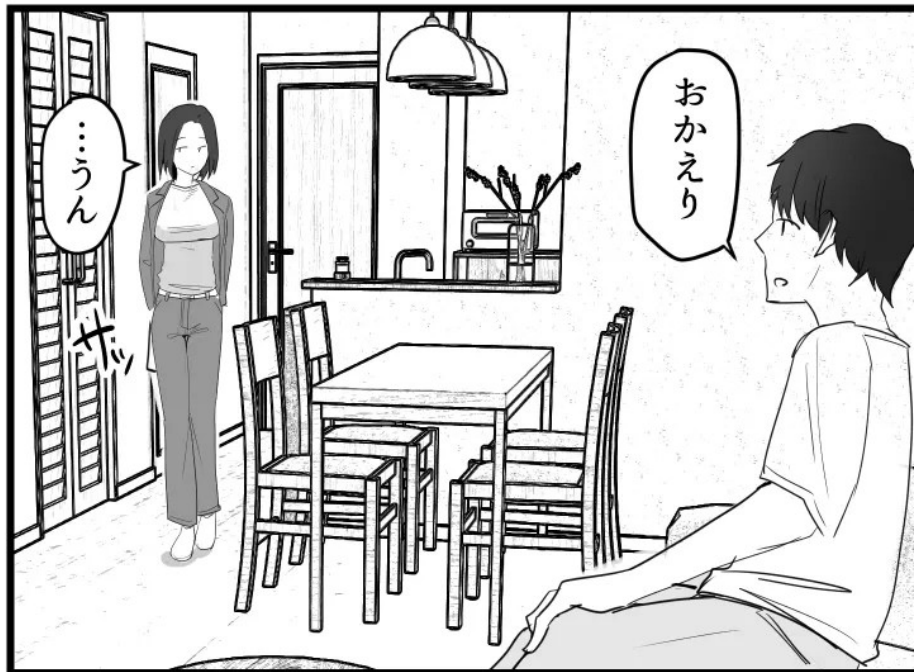
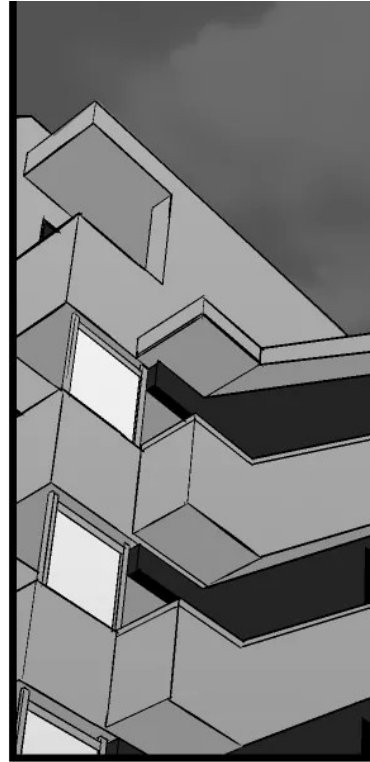
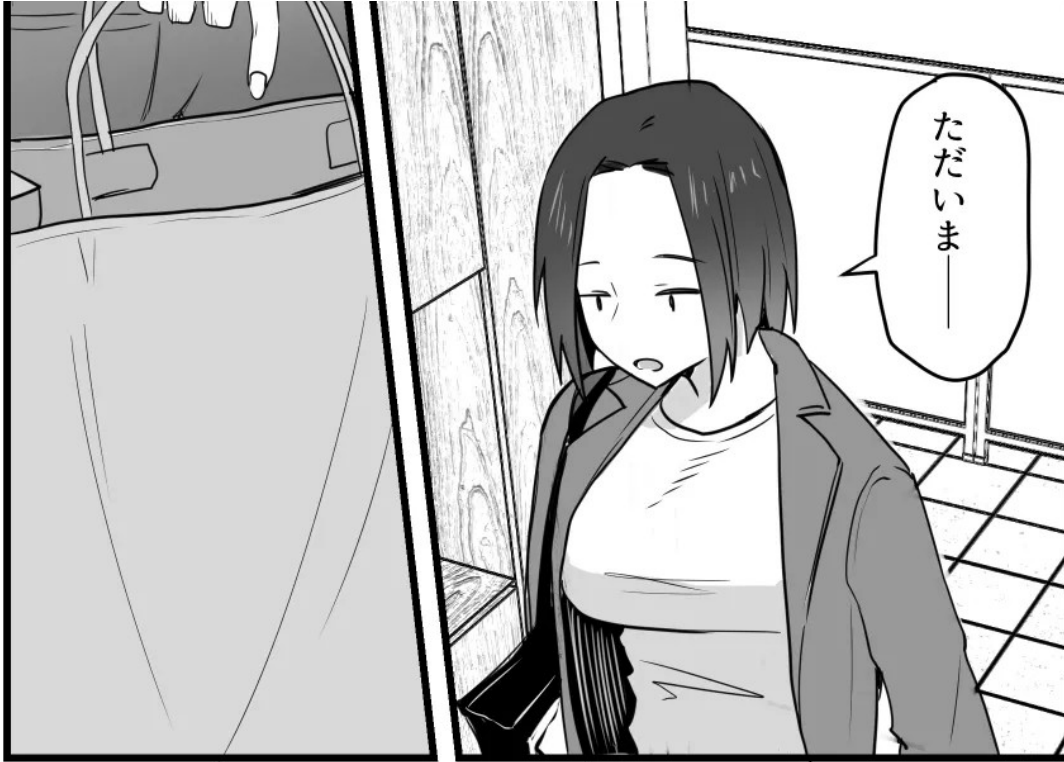


ちよつと
寄り道してた

遅かったな



そうか
……帰ったら
話がある



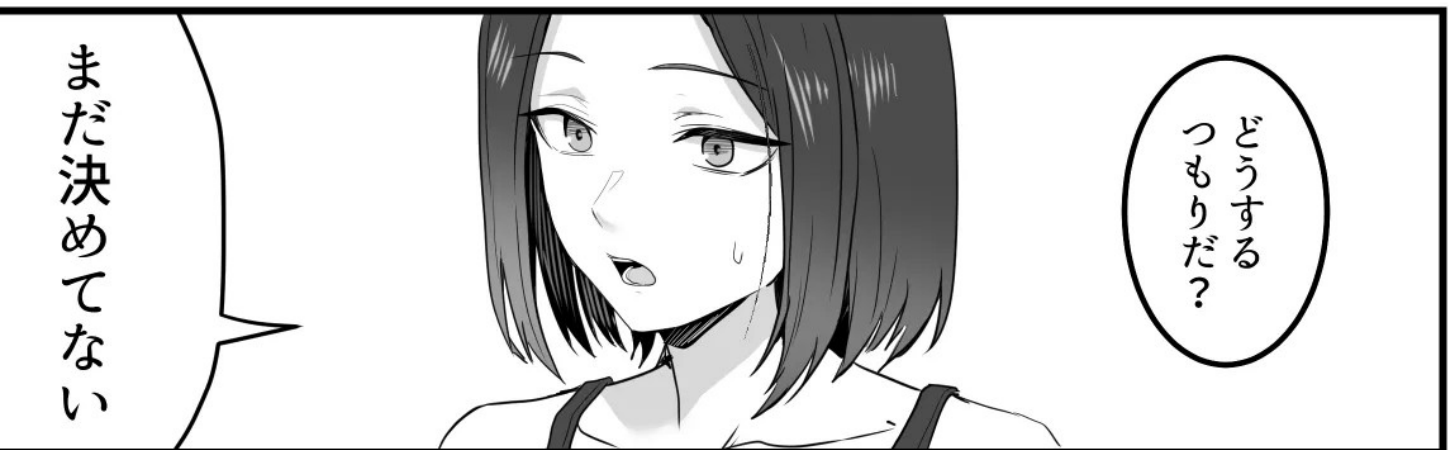


上司が情報を共有していたのだから



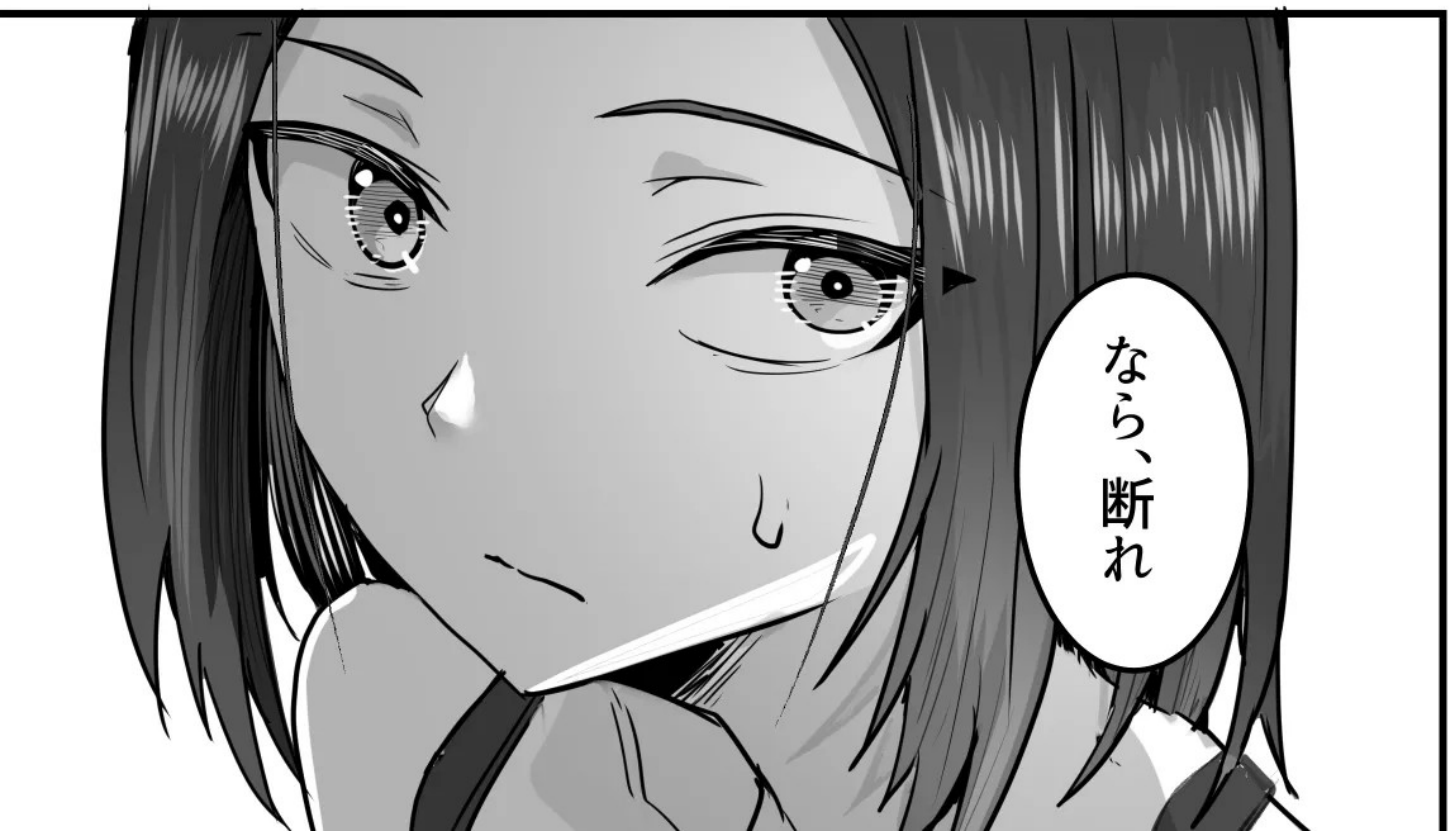
……誰から聞いたの?

部長だ



どうするつもりだ?

まだ決めてない



なら、断れ

……なんで？

アイツが何を
考えてるのか
お前が一番よく
知ってるだろ

正太郎が
言いたいことは
理解できる

でも、私にとって
これはただの個人的な
感情だけの問題ではない

わかってる

でも

勇太のためにも
成功させなければ
ならない

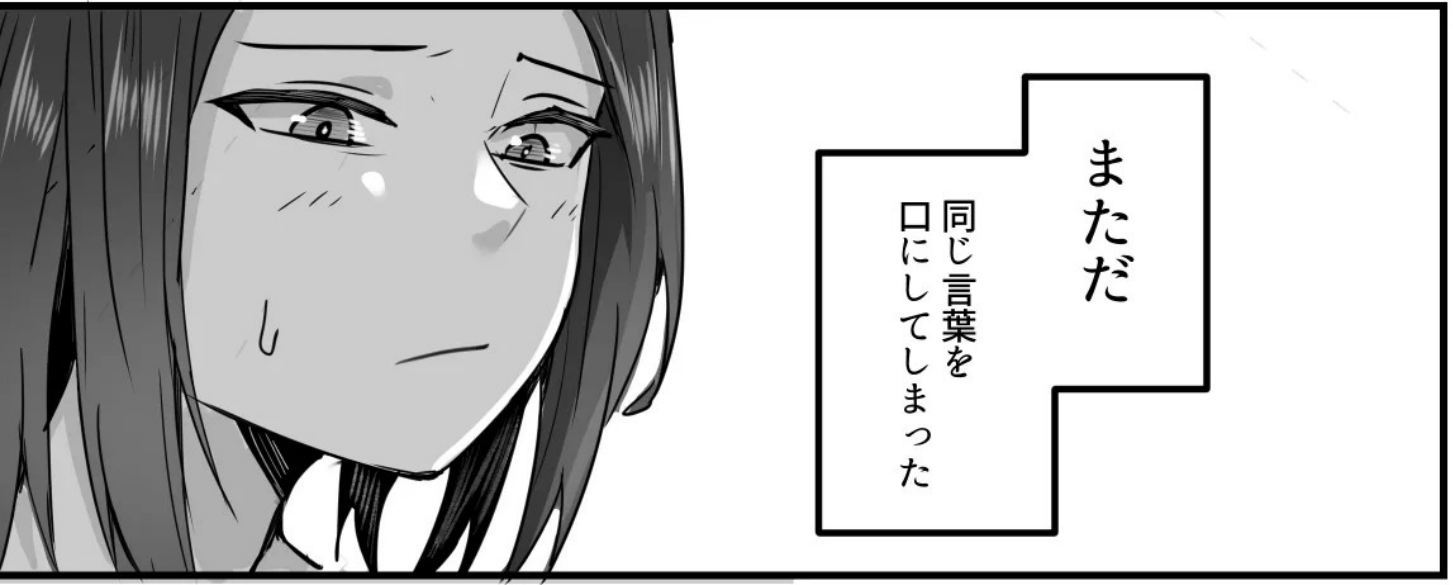
これは
私の仕事
だから……

ゴ
ゴ
ゴ



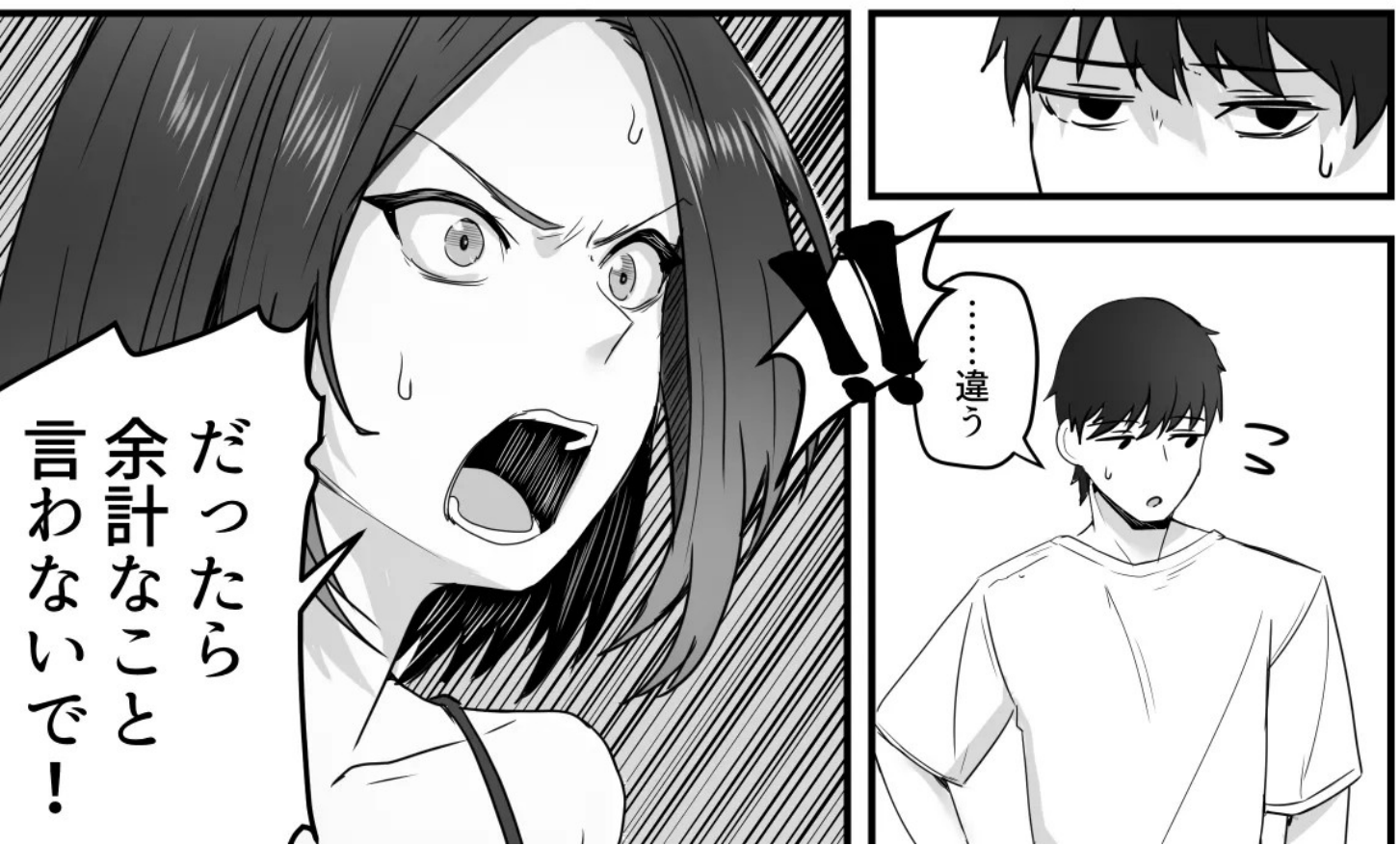
それは分かってる！
でも、お前がああ男と
二人で会うのは――

私にこの仕事が
できないって
言いたいの？



まただ

同じ言葉を
口にしてしまった

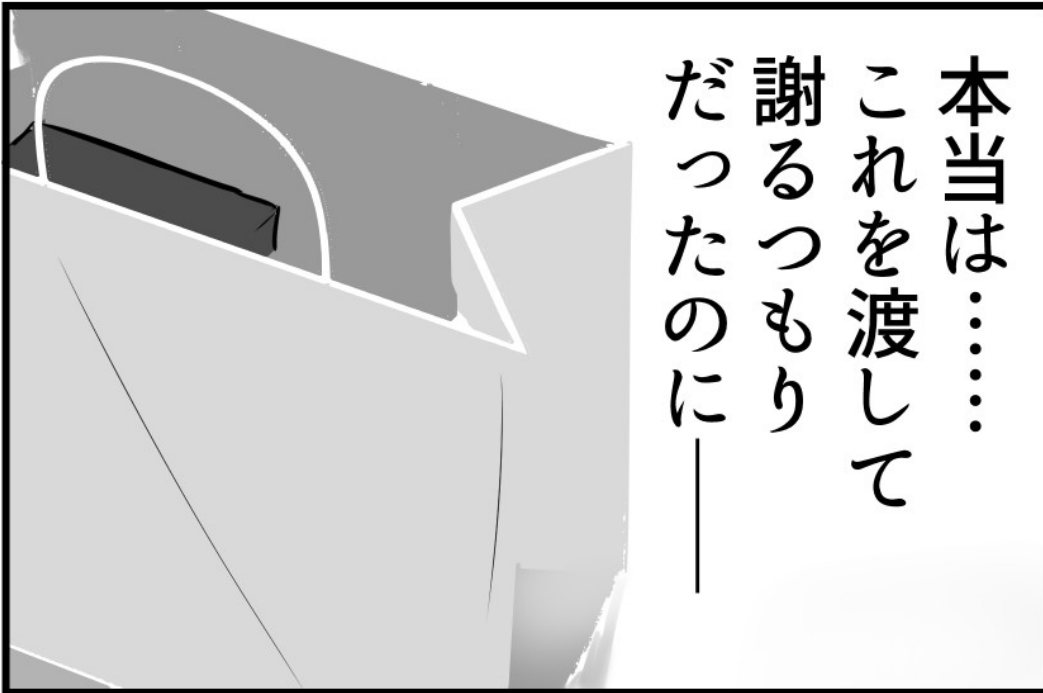


だつたら
余計なこと
言わないで！

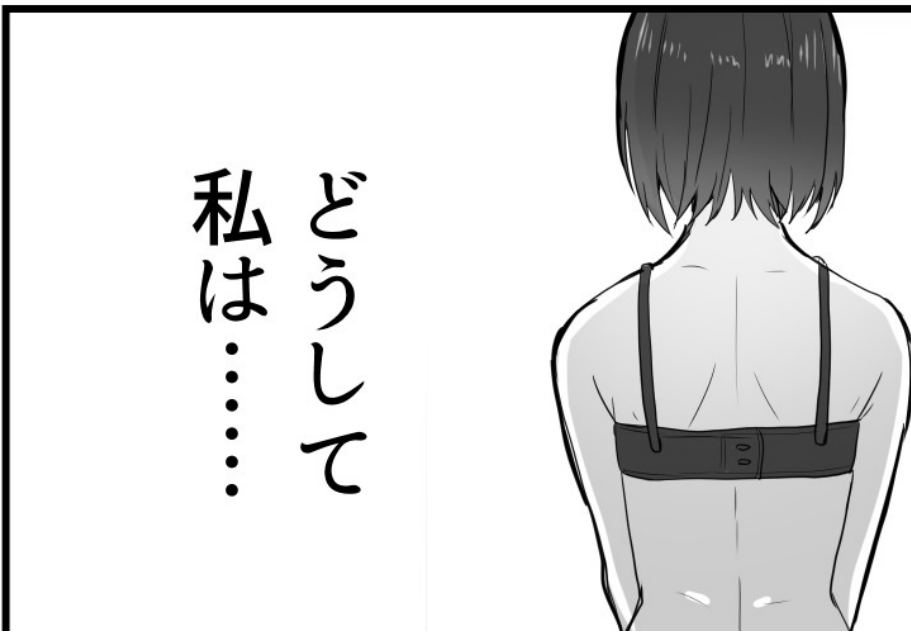
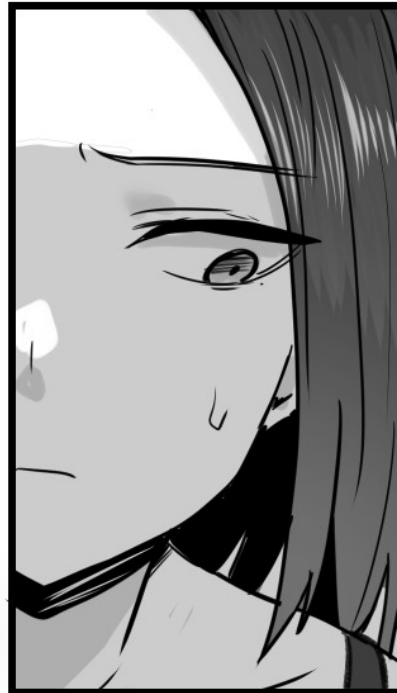
……違う



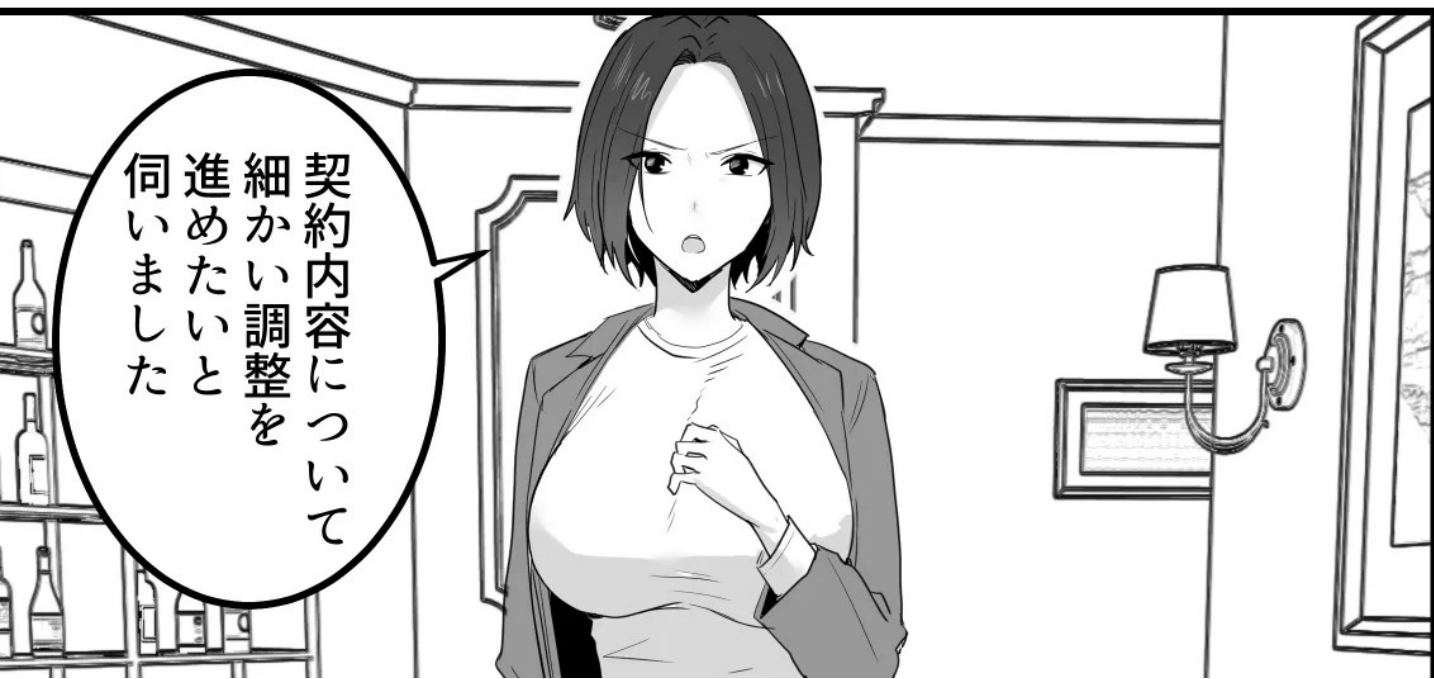
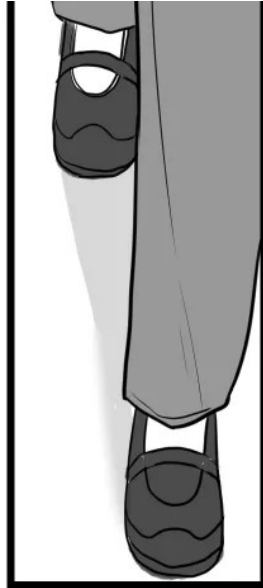
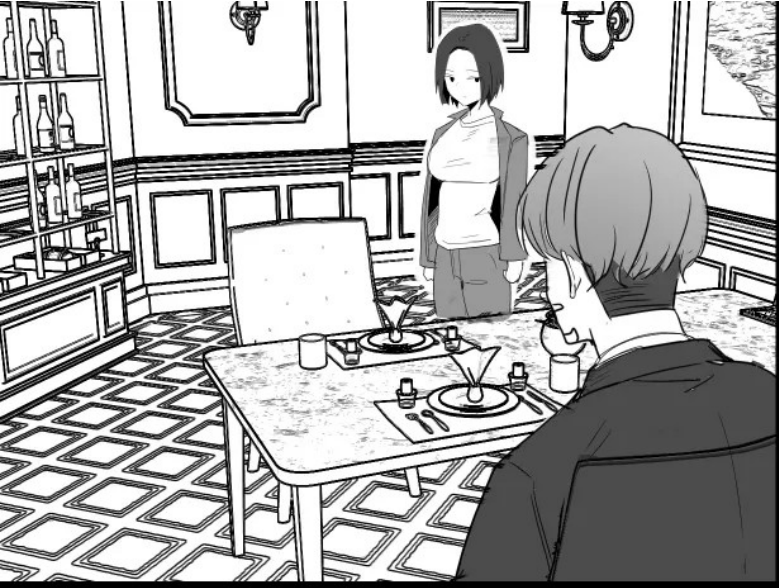
……わかった



本当は……
これを渡して
謝るつもり
だったのに——



どうして
私は……

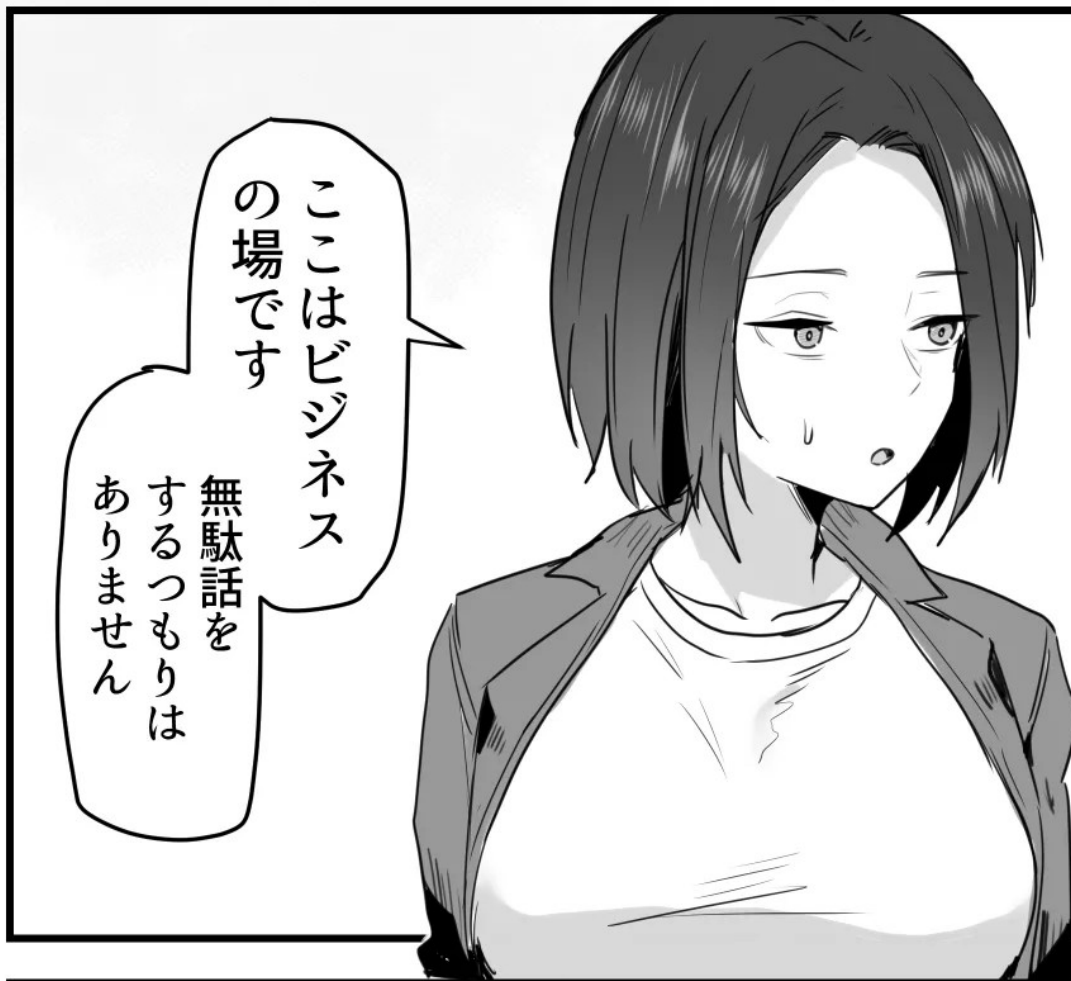




せっかくの機会だ
少し昔話でもしながら
食事を楽しもう



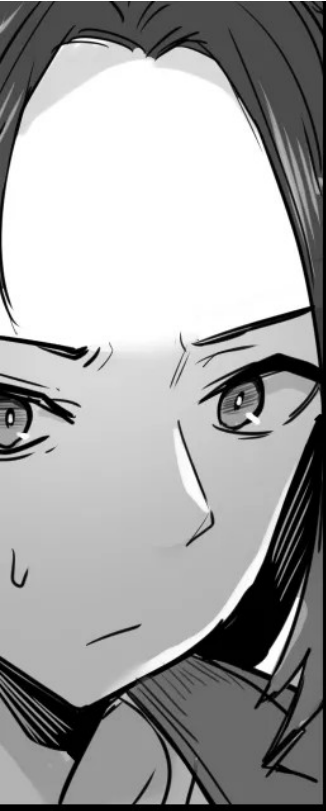
まあまあ、そんなに
急がなくても
いいじゃないか



ここはビジネス
の場です

無駄話を
するつもりは
ありません





君は
相変わらずだな




相変わらず、
か……

いや、違うな



昔より素敵に
なったよ


……またこれ



この男は
昔からこうだ

仕事の話に私情を絡め
こちらの反応を
試すように
言葉を選ぶ

「褒め言葉」のように
装いながら
ほんの少しだけ相手を
試すような
そんな言葉を



……本題に
入りましょう



でもね……
もうひと押し
決め手が
ほしいんだ

この取引は
君にとっても
会社にとっても
大きな意味を
持つだろうか？
君が担当することで
取引の成立は
ぐっと近づく



契約を確実に
するために
もっと君と親しい
関係を築きたい



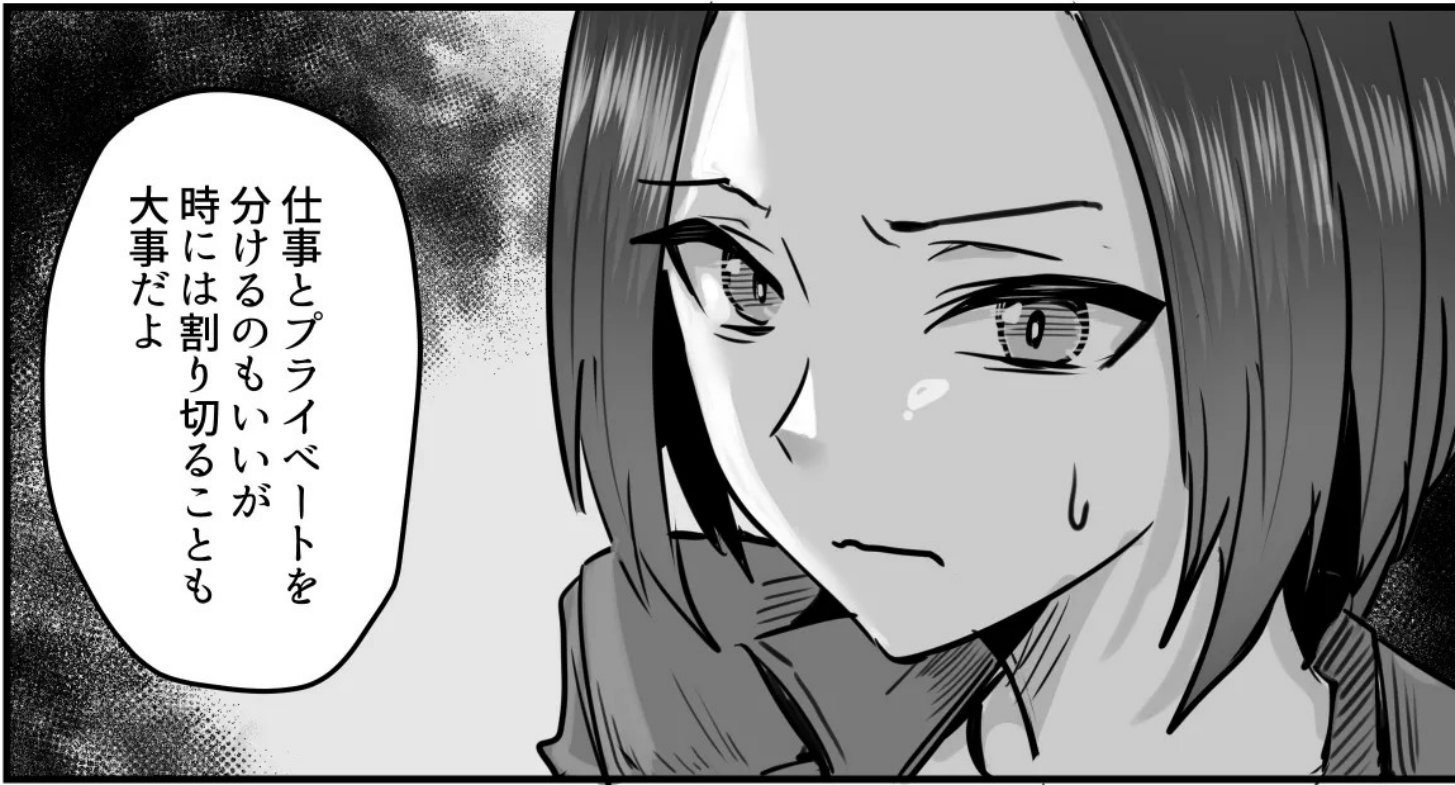
決め手？

言葉通りの
意味さ

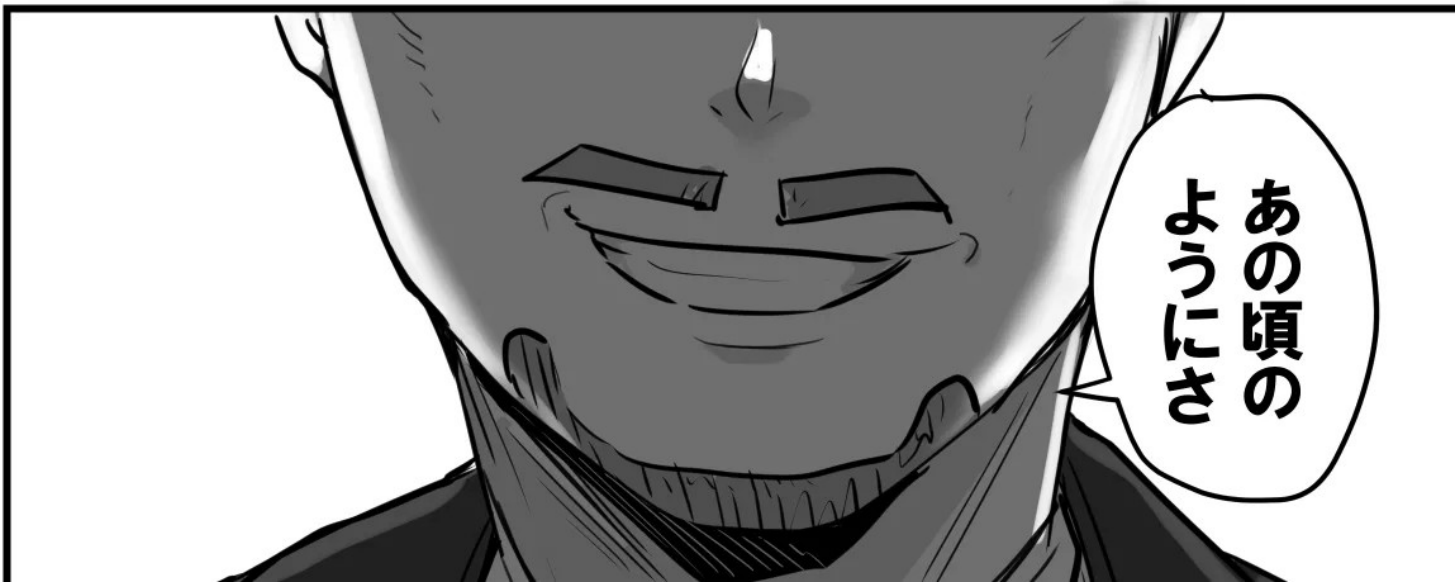


……どういう
ことですか？

大人なんだから
わかるだろう？

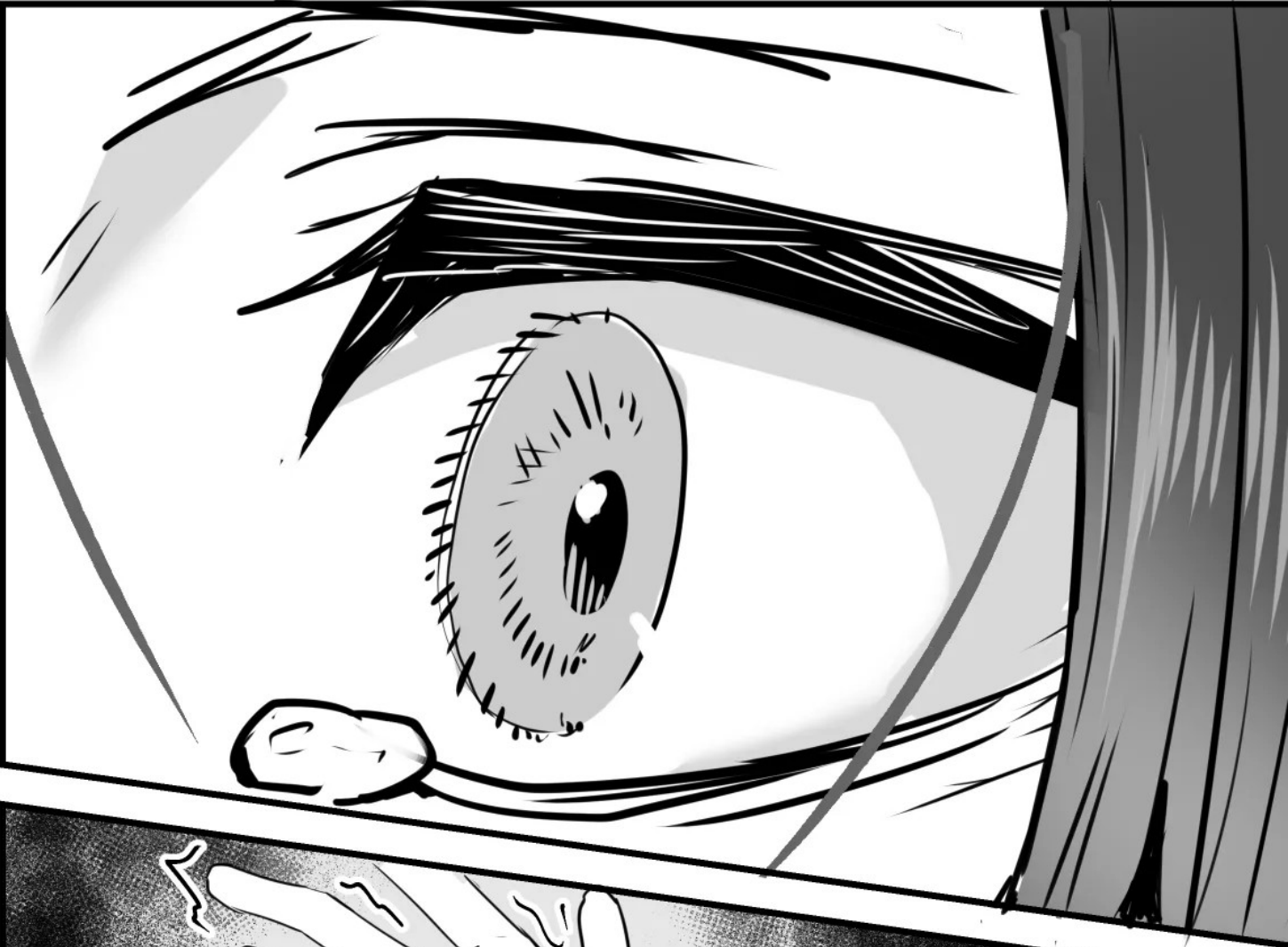


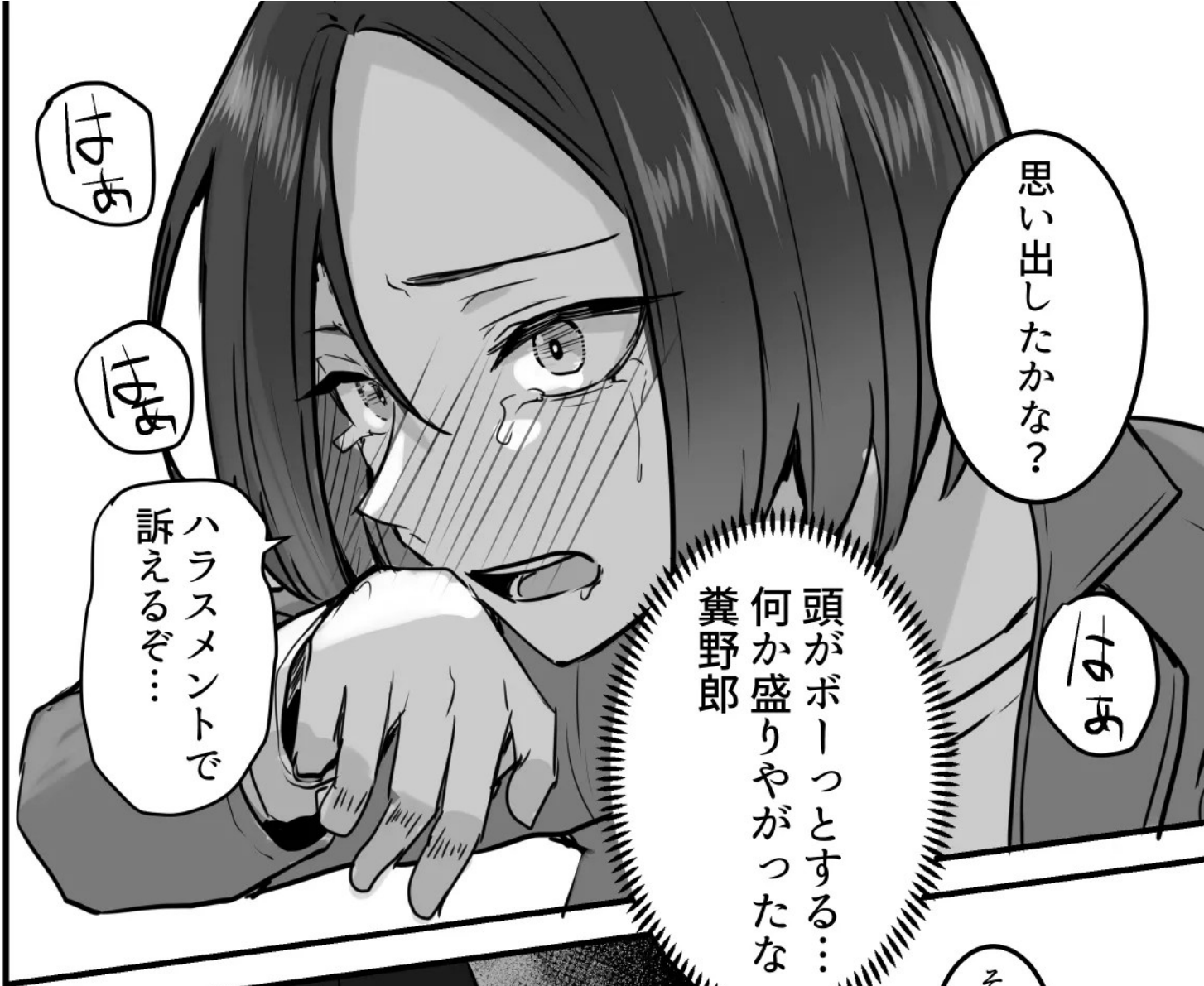
仕事とプライベートを
分けるのもいいが
時には割り切ることも
大事だよ



あの頃の
よういさ







あ

あ

ハラスメントで
訴えるぞ...

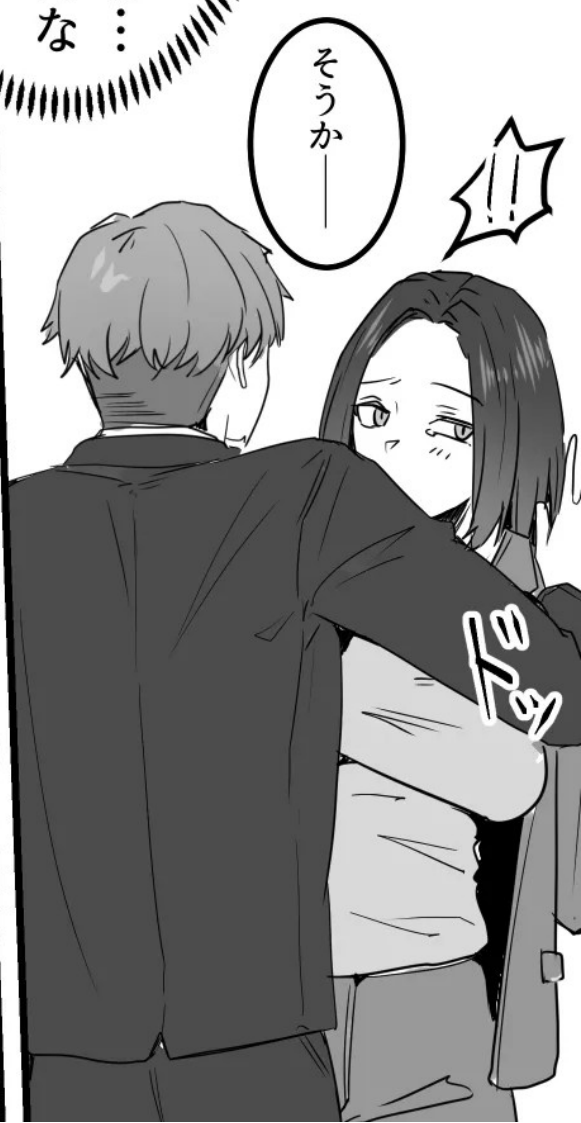
思い出したかな?

頭がボーっとする...
何か盛りやがったな
糞野郎



君が背負って
いるものは?

!



そうか

ゲゲッ

お利口だね

君は

はあ

はあ

駄目：
力が入らない：

グイッ

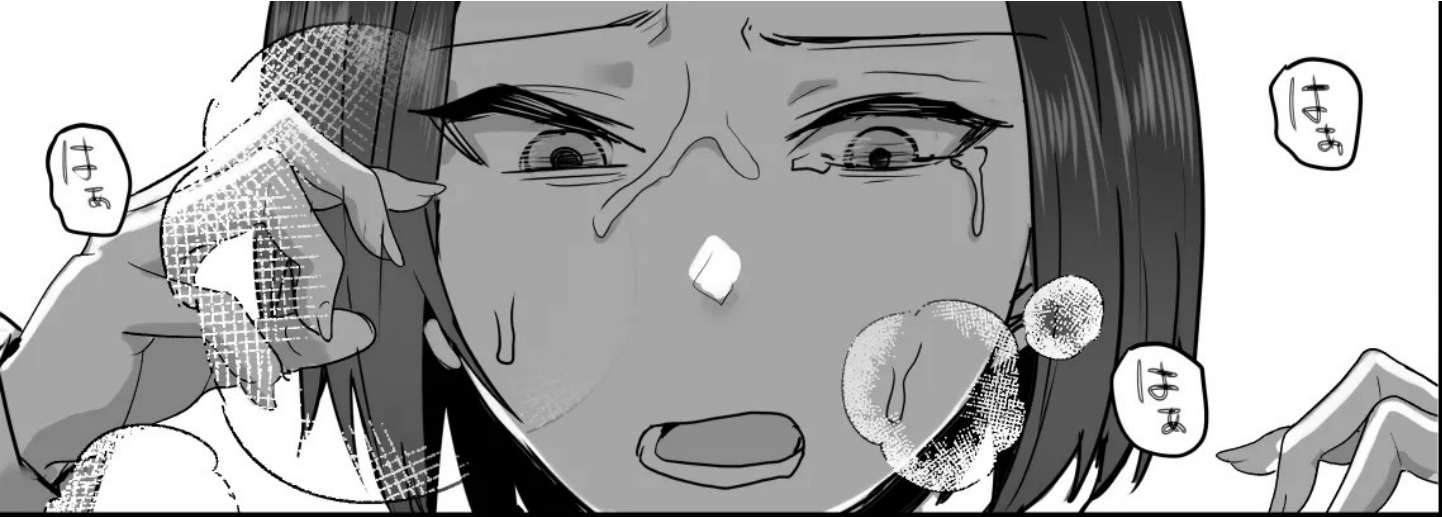
フムン

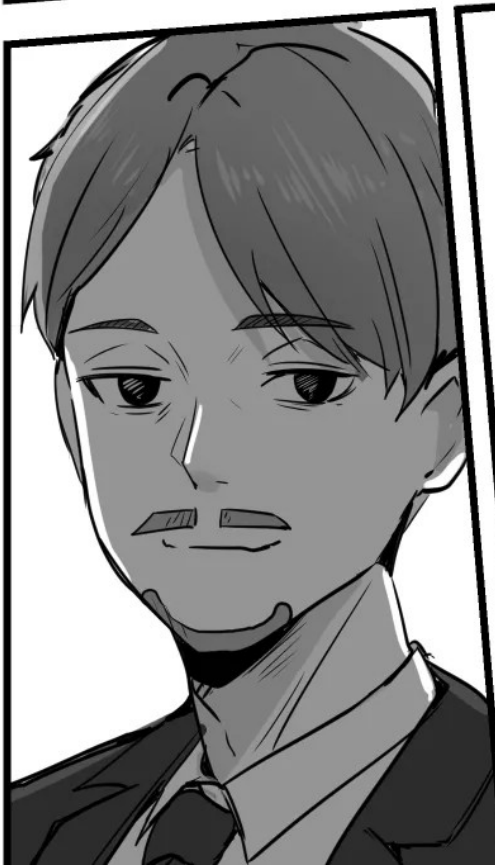
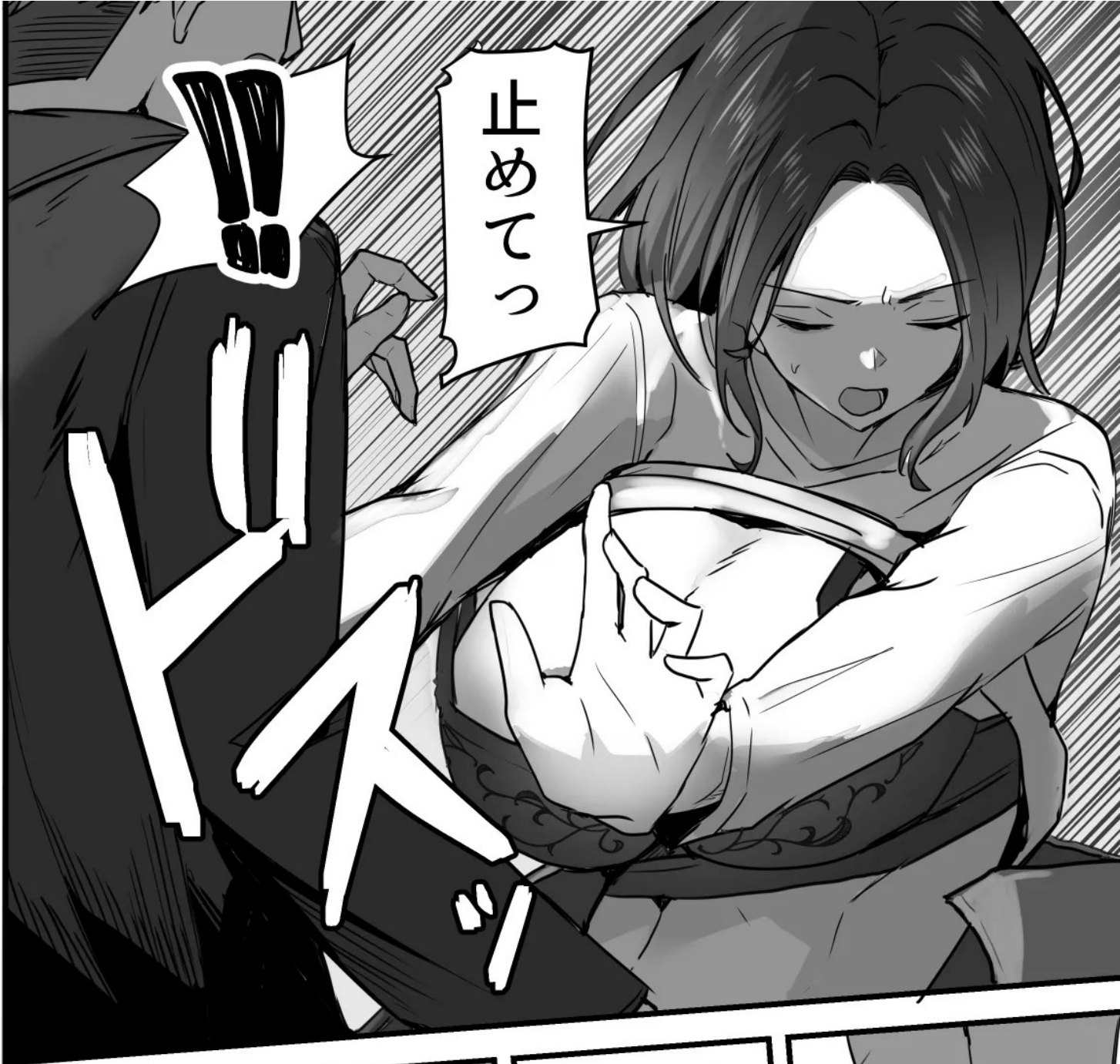
思い出す
だろうか？

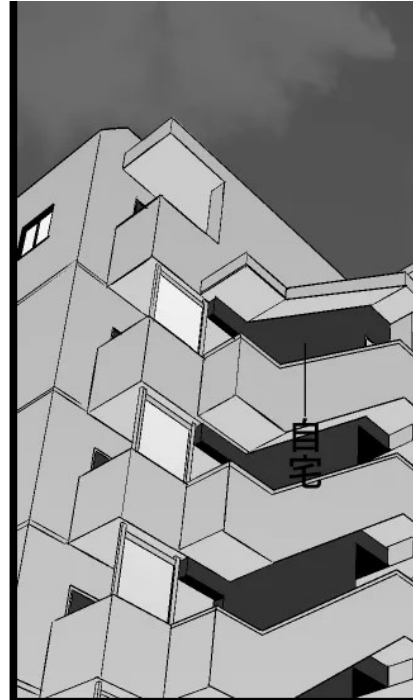
私が君の乳首を開発
してあげたんだから

糞野郎…

止めろ…ツ

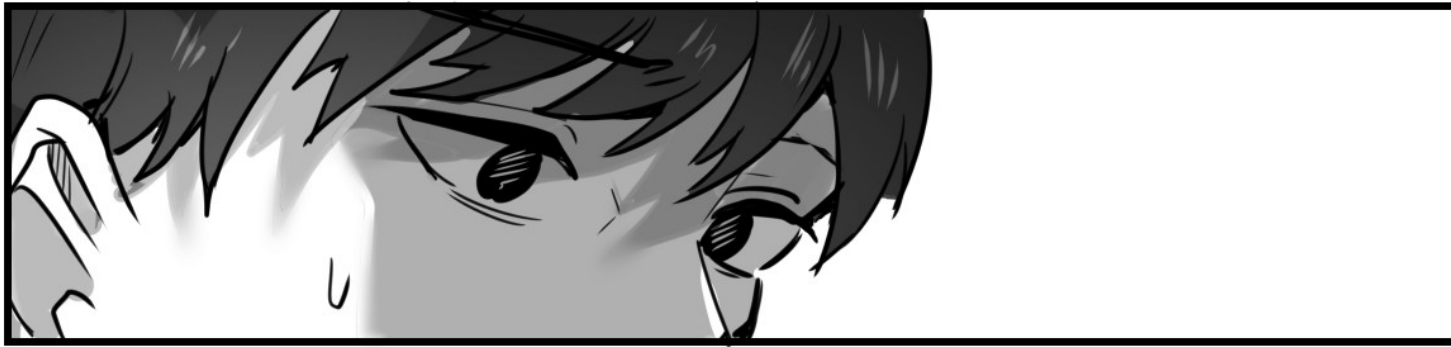




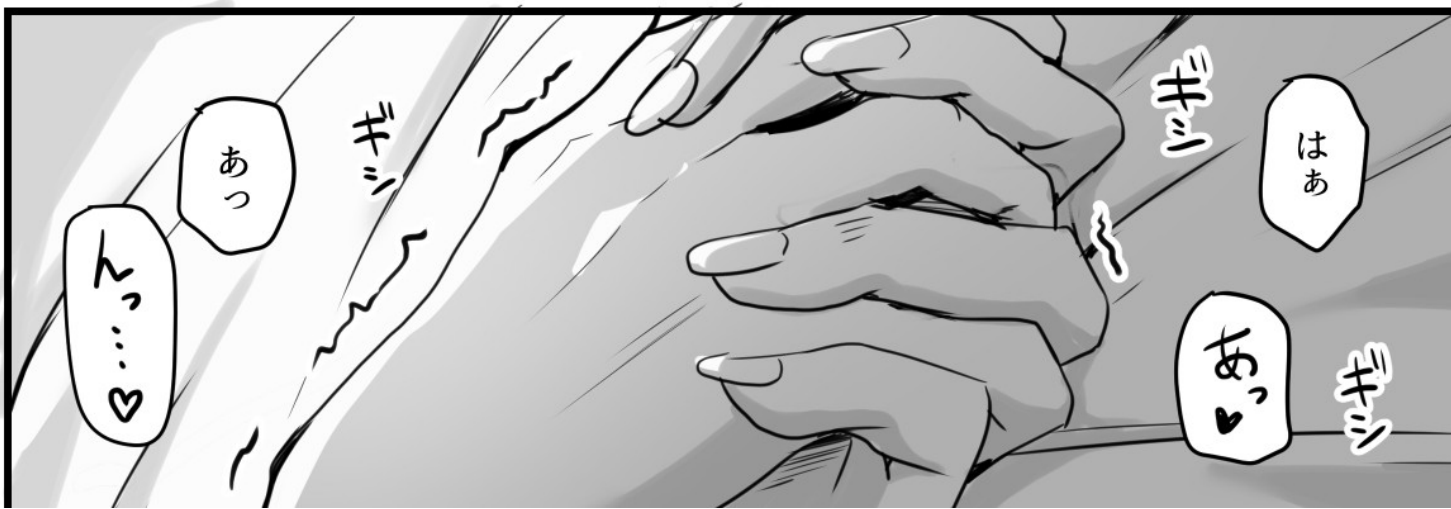




ごめん...慰めて...



う



♡...ア

あっ

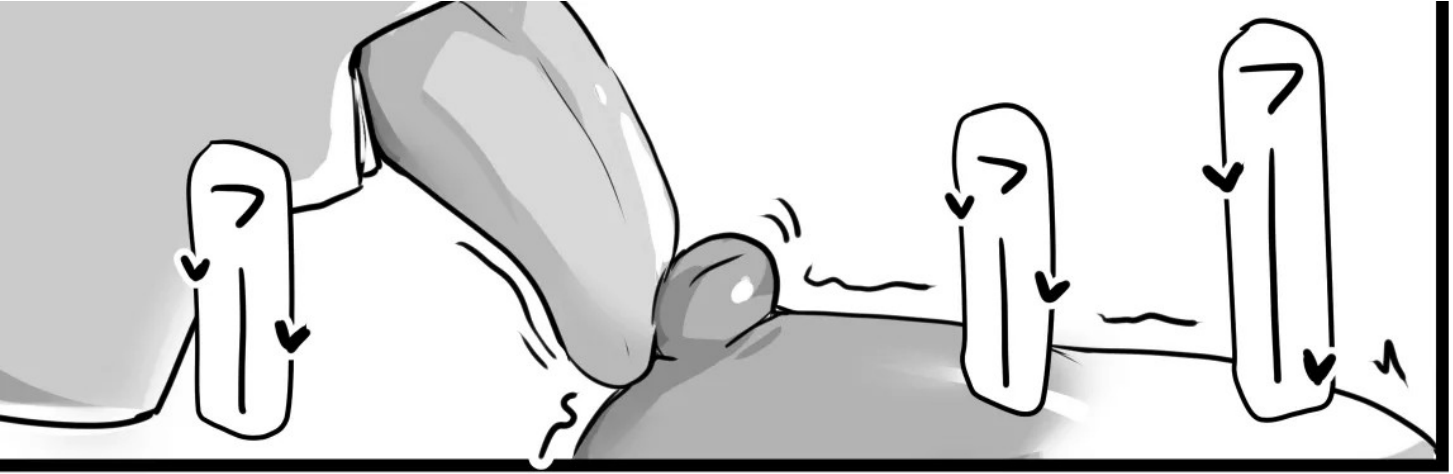
ギン

ギン

はあ

あっ♡

ギン





次は俺の番な…

フ

フ

ぬっ

ぬっ

フ

少し絶頂しちゃった…

ああ

はあ

はあ

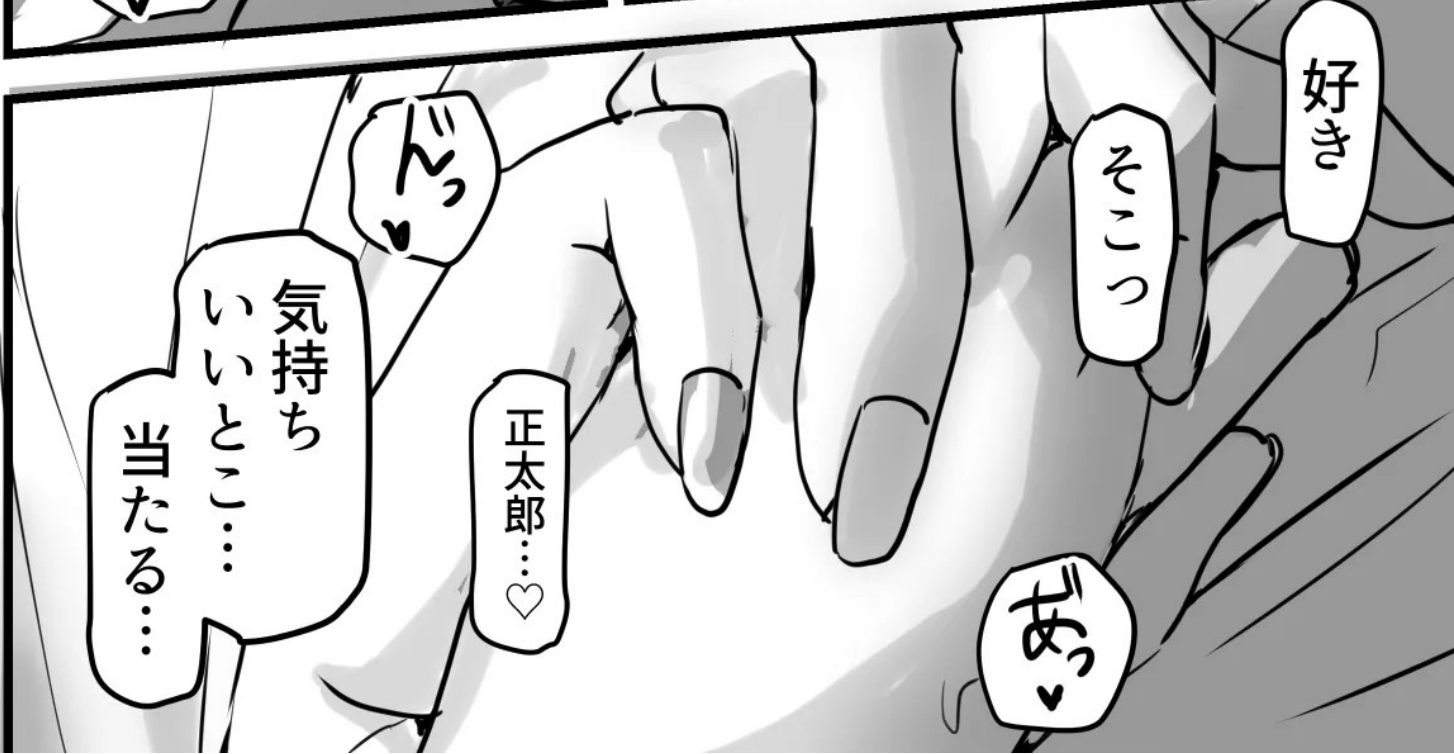
ん

ん

ちゅ

ちゅ

ちゅ…



好き

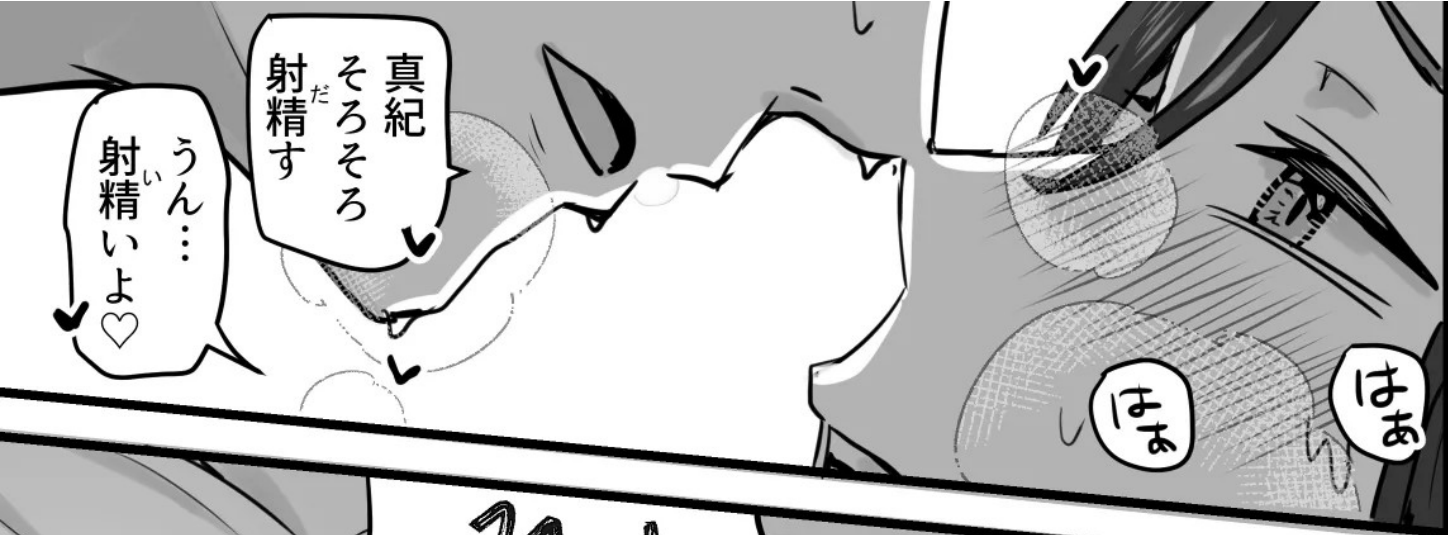
そっ

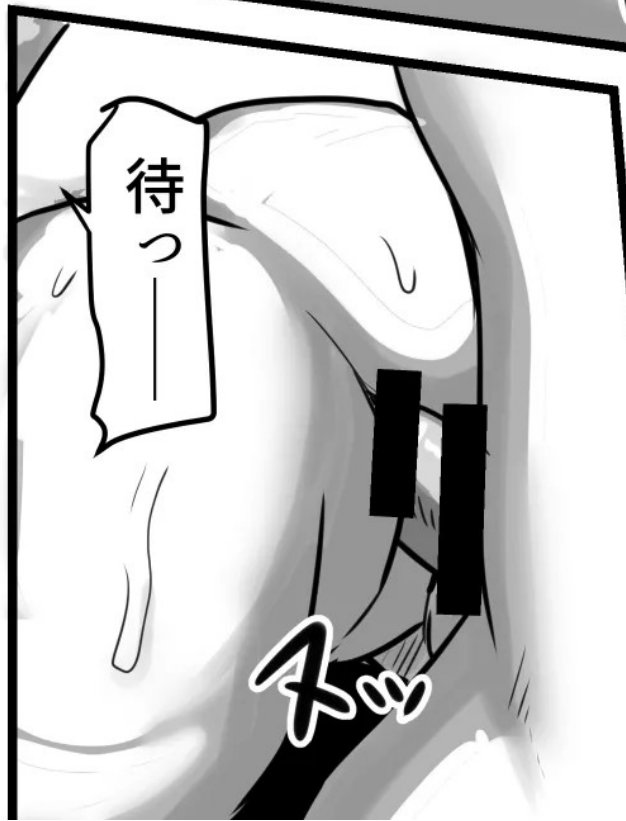
あ

正太郎…♡

気持ちいいとこ…
当たる…

ん







アハハハ

ガッ

アッ

アハ

ガッ

アッ

アハハ

や...ッ
そこ...
おく...
♡

ガッ





正太郎……

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

ん♡
ん♡
ん♡

ん♡
ん♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

ガク

ガク

絶頂まんない

絶頂まんないよお♡

正太郎♡

真紀っ
俺も射精すぞ

ガク

はぁ♡

ハッ♡

いいよ
射精して♡

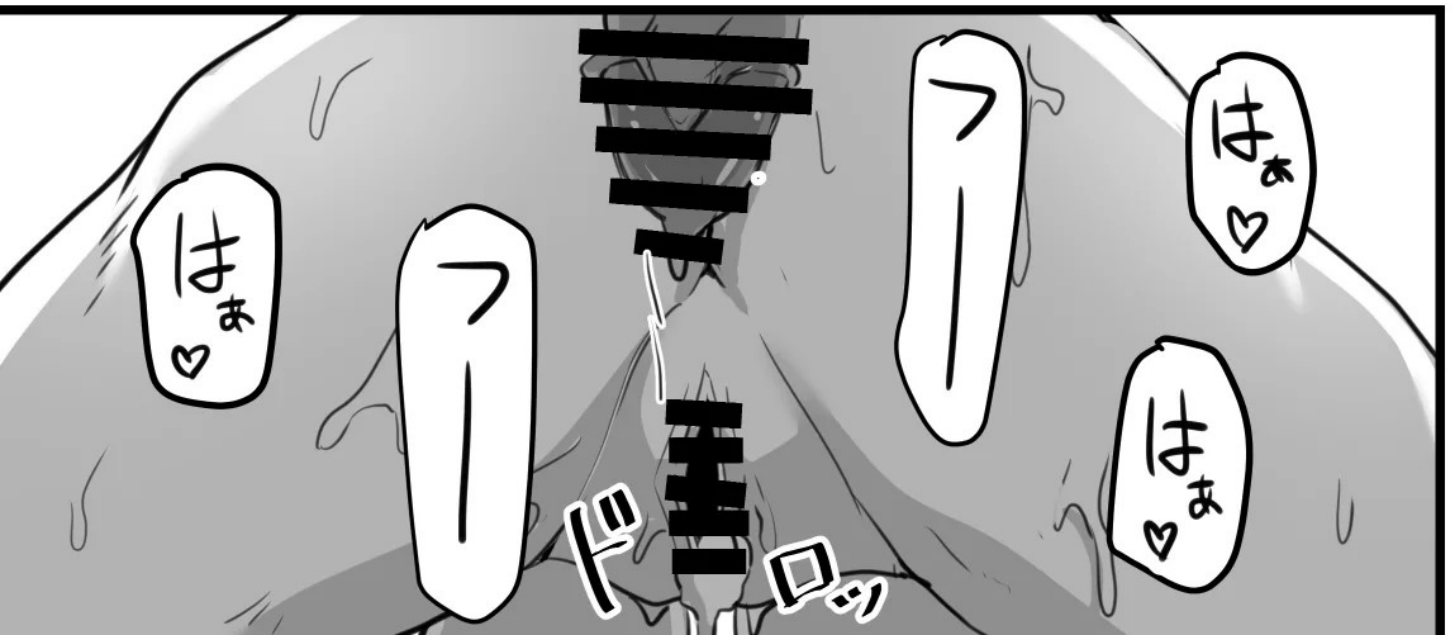
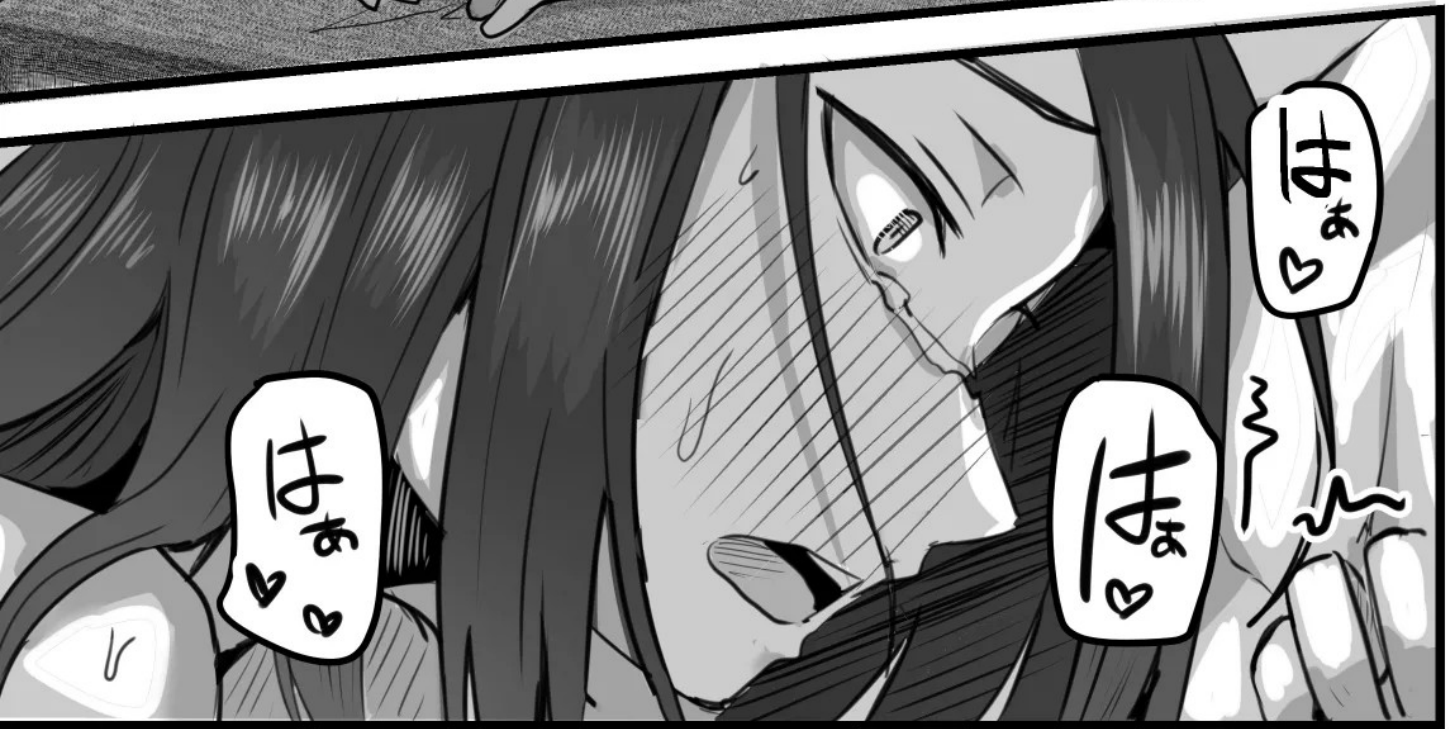
はぁ♡

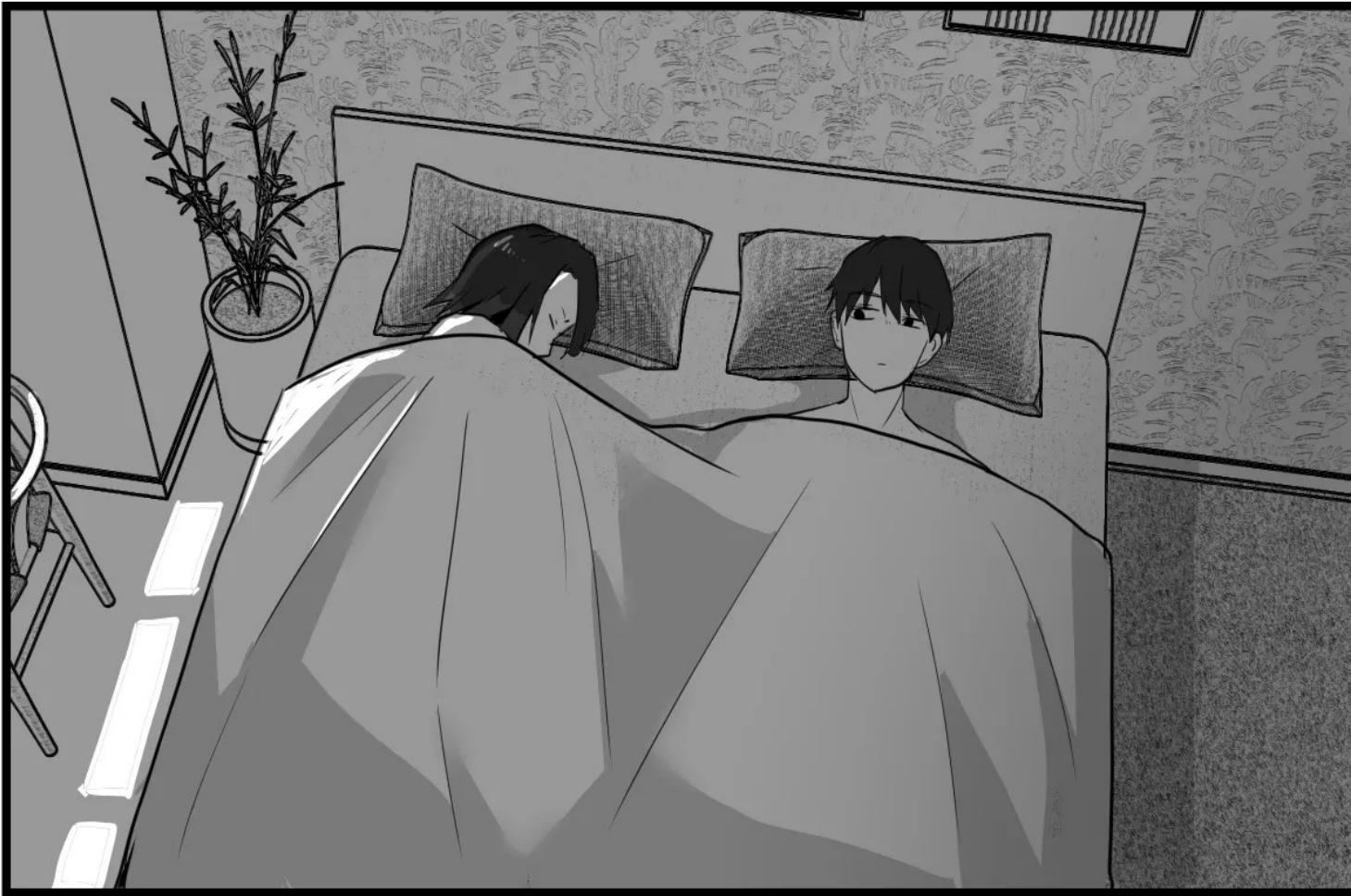
ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡









橘との会食……
取引を有利に
進めるために

「個人的な関係」を
攻められて



けど私
正太郎のこと絶対
裏切りたくなくて

ギリギリの
ところで
逃げてきね…

だから――

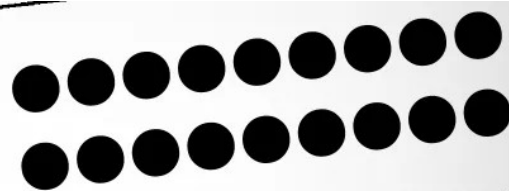
助けて
正太郎

……アイツ
どこにいる??

どうしたら
いいの??

……わからない

LINE
なら……

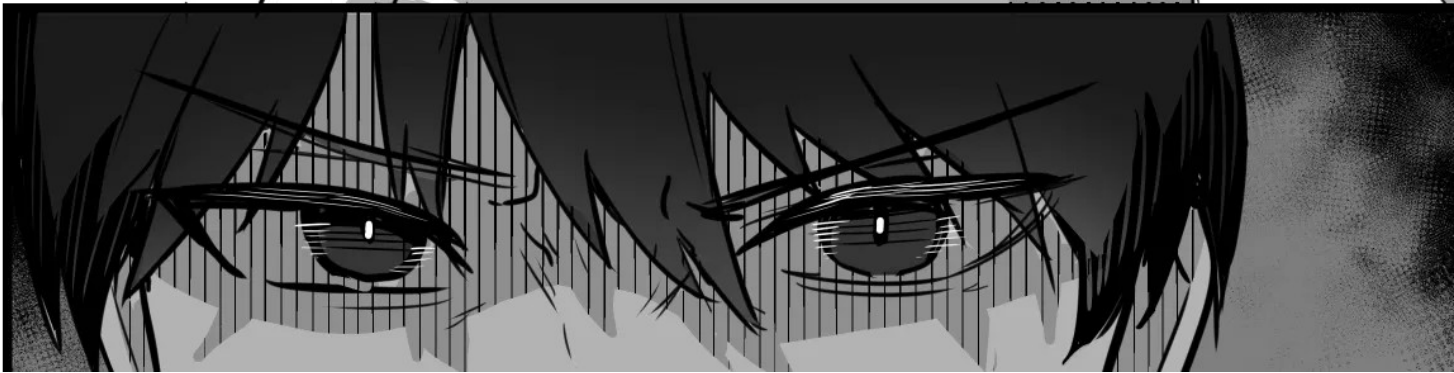


今日はいいい一日でした

楽しみしています
待ってますよ

また二人で話しましょう
契約決めたいでしょう？







お前が橘か……

真紀に何したか
分かってん
だろうな

さて、何のことを
おっしゃって
いるのか……？



私はただ、取引を
円滑に進めるための
「提案」をしたに
過ぎませんよ



てめえ……

女を
取引材料にする
んじゃねえ

おお

ガミッ

それは
あなたの価値観
でしょ？

どうするかを
決めるのは
彼女自身では？

ググッ...

お前には
関係ない
ってか？

はい

取引とは
双方のメリットが
一致することで
成立するものです

なので—

どなたか
知りませんが

ゴ
ゴ
ゴ

少なくとも
あなたがママで言う
筋合いはないでしょう





どなたか
だつて？

柊は
俺の婚約者だ!!



……ほう
それで？

ガッ

ゴ
ゴ
ゴ

ガッ



く
く

はあ

だからといって
私のビジネスに
口を出す権利が
あなたにあると？

私は真紀の重要
取引先でも
あるのだよ

はあ

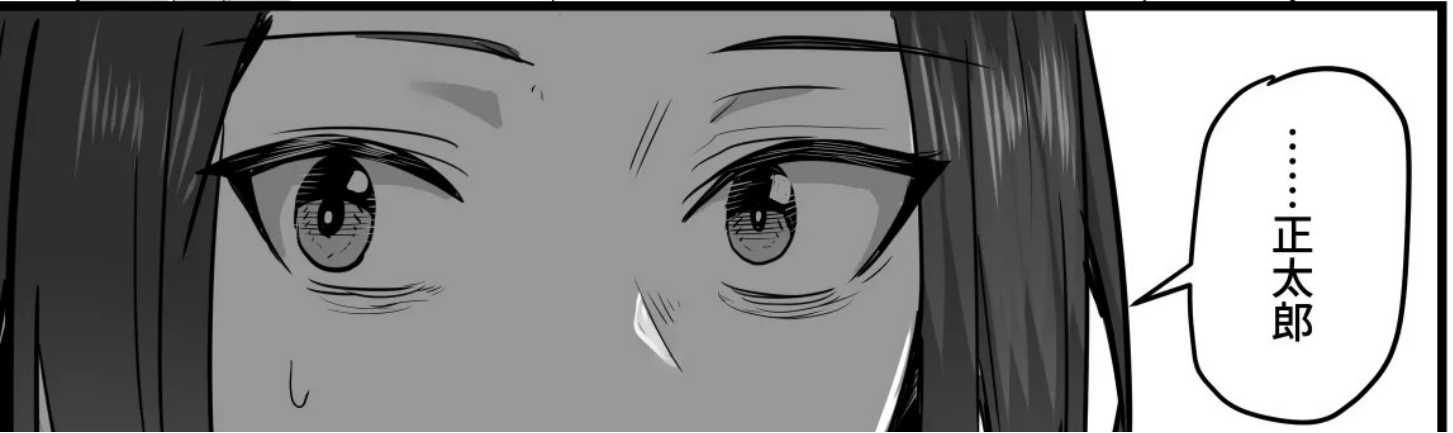
はあ





次にお前が真紀に
何かしたら——

そのときは
殴るだけじゃ
済まねえからな

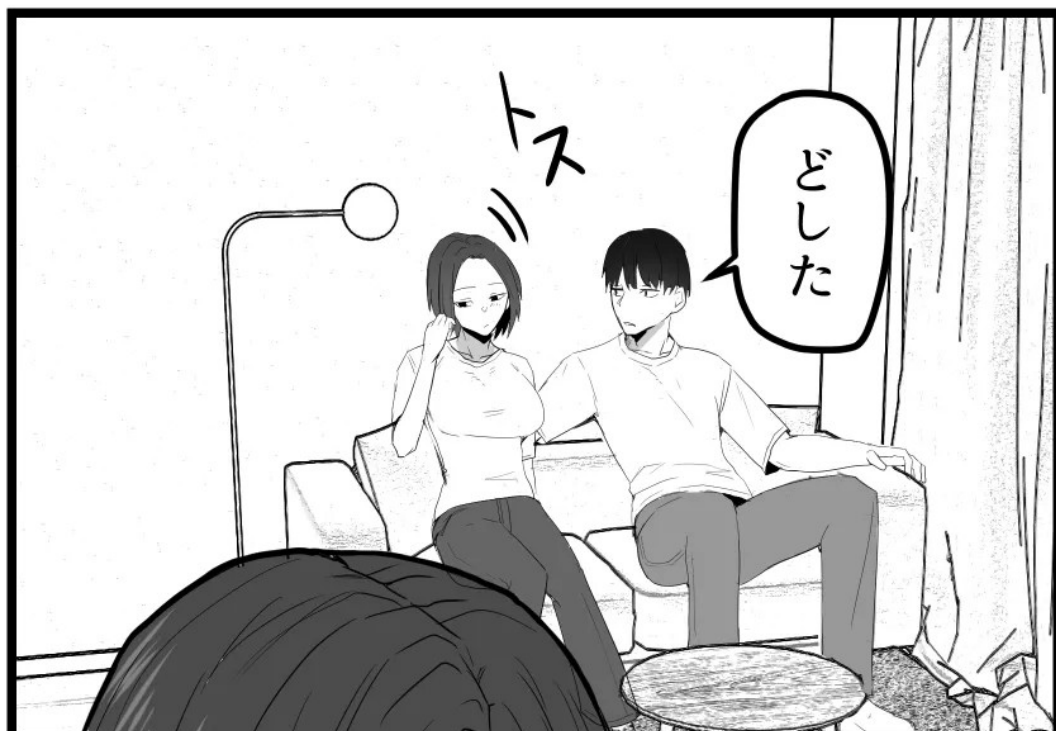
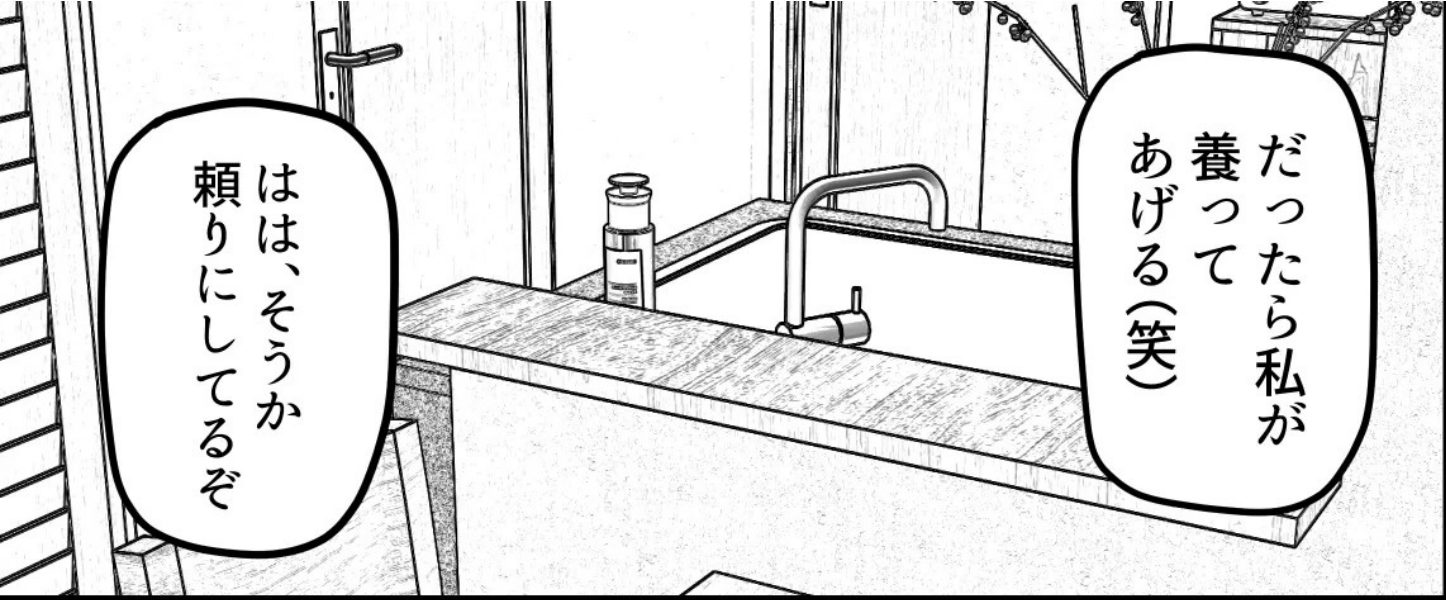


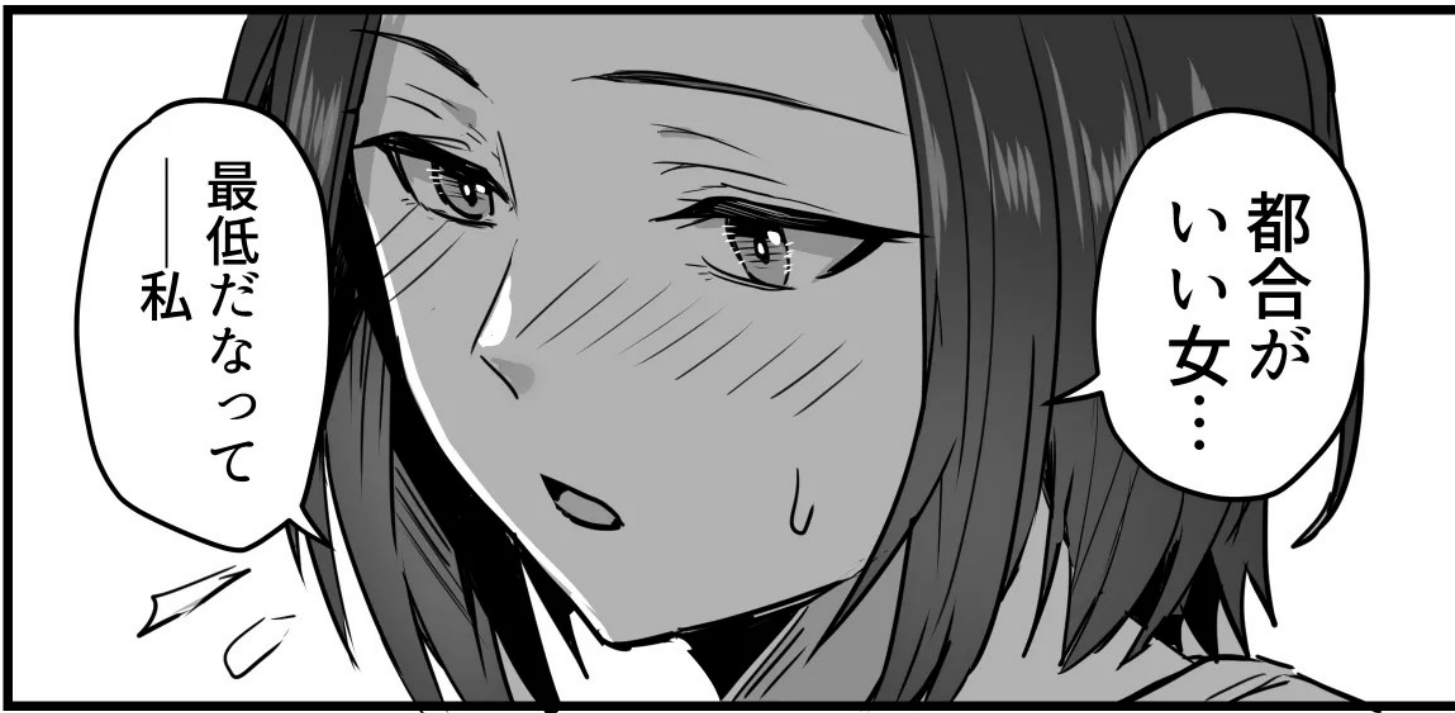
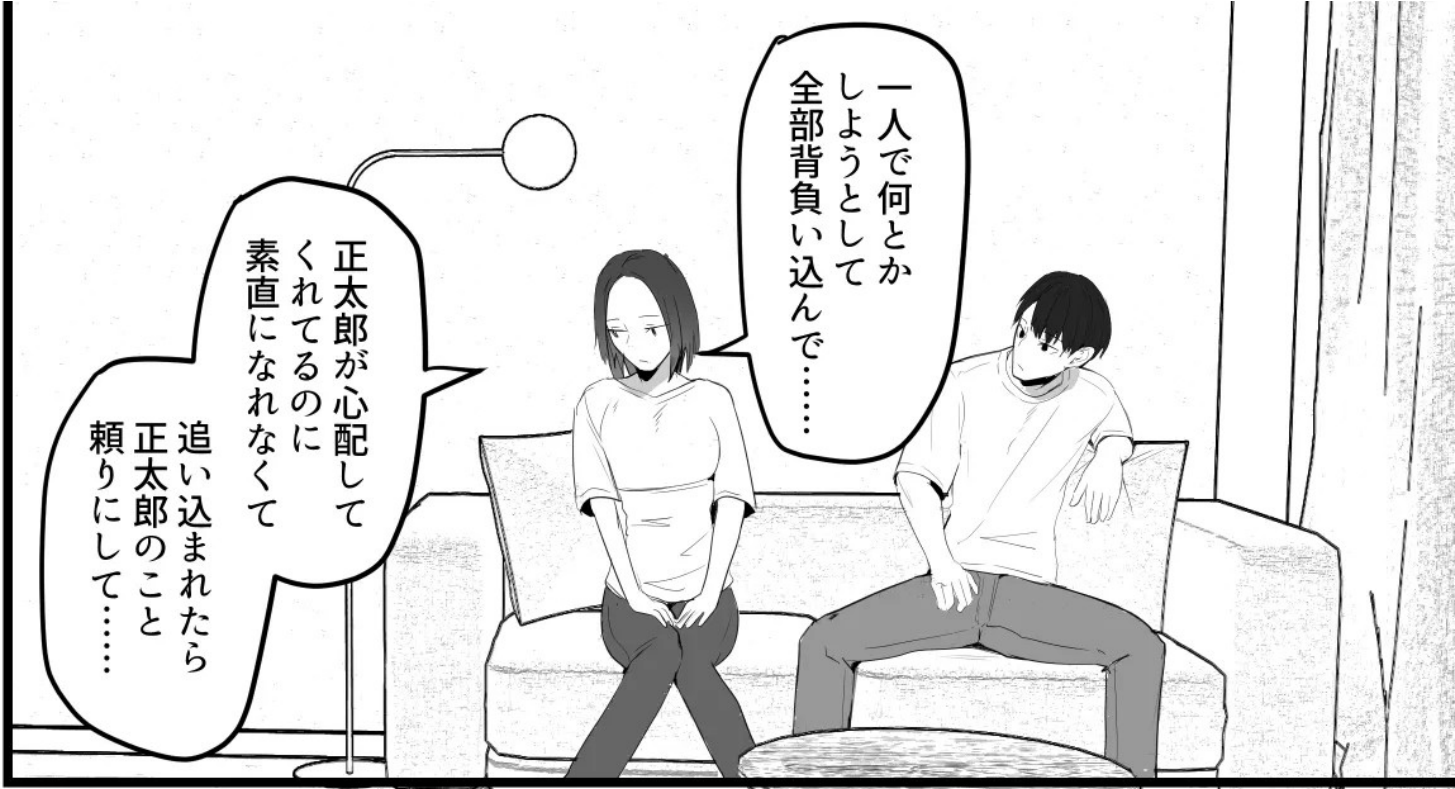


ぶん殴ってきた

会社にバレたら
クビだな(笑)







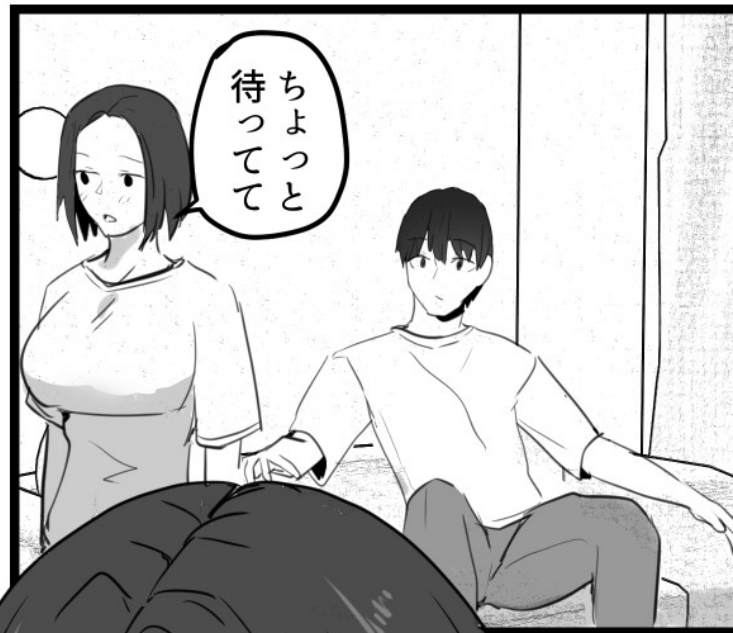


だから
これからは
ちゃんと頼る

だから
ごめん

そして
ありがとう





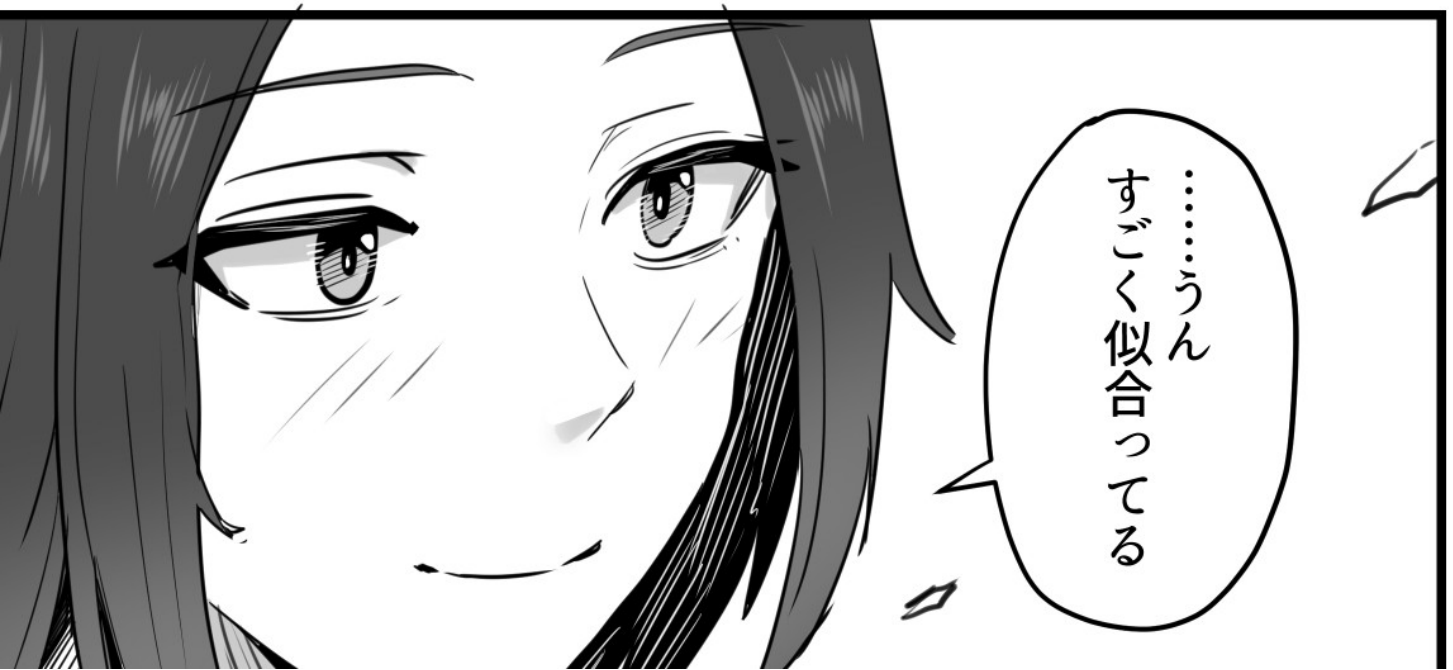


はじめて、真紀から
謝られた気がする

おい



似合ってるか?

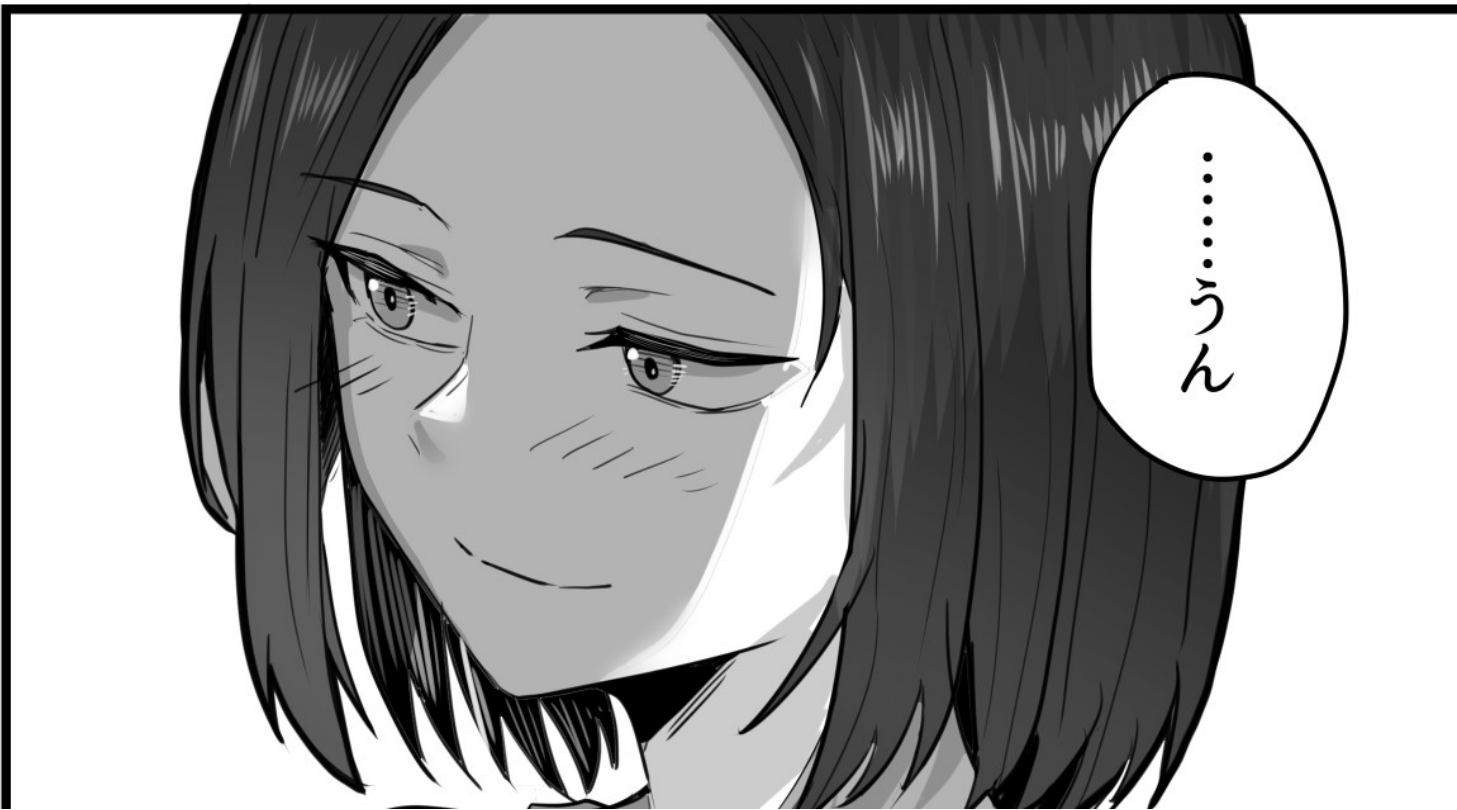


……うん
すごく似合ってる



サンキュー

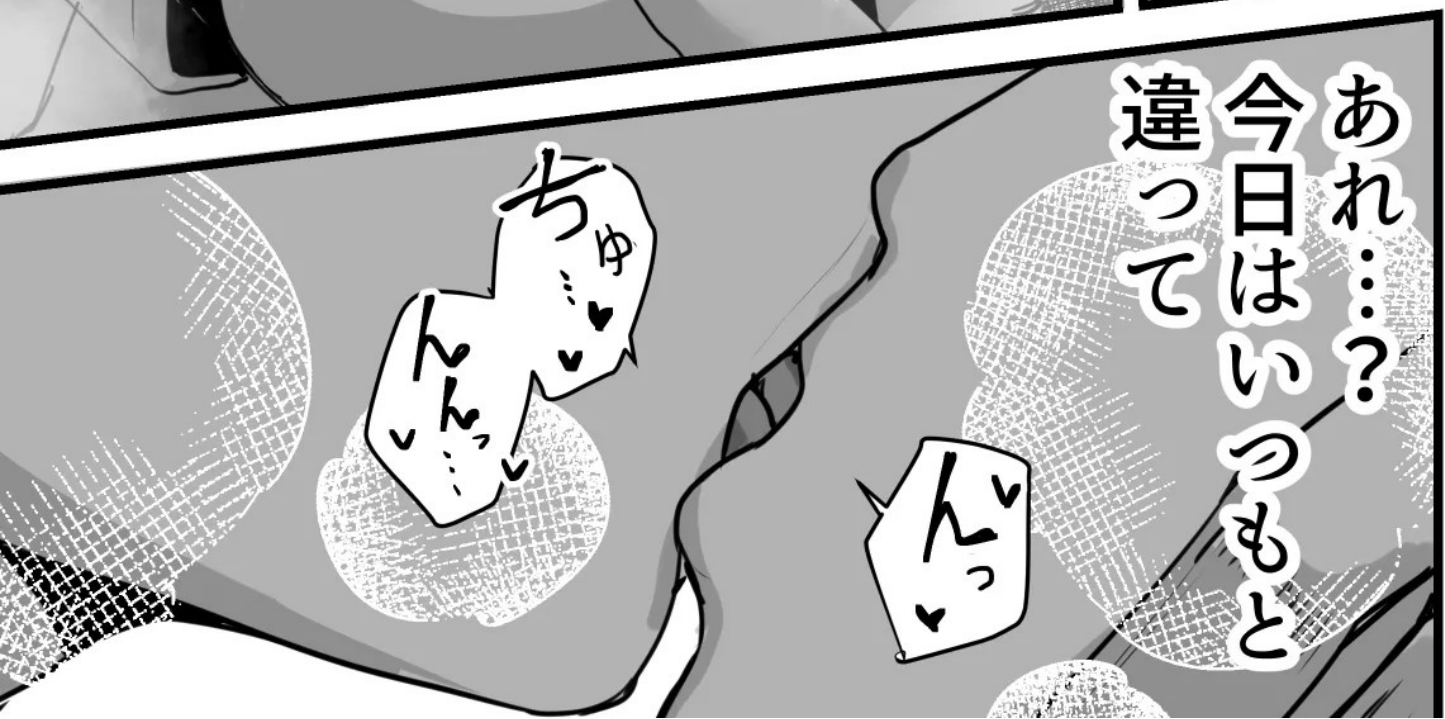
これから
ちゃんと
俺を頼れよな



……うん



グッ



あれ...?
今日はいつもと
違って

ちゆ

ん



おはー

おはー

おはー

おはー

おはー

おはー

おはー

おはー

おはー

頭真なる
自由に



おちんちん
ほしい...

ん...

ふふふ

ぽんぽん

ぽんぽん

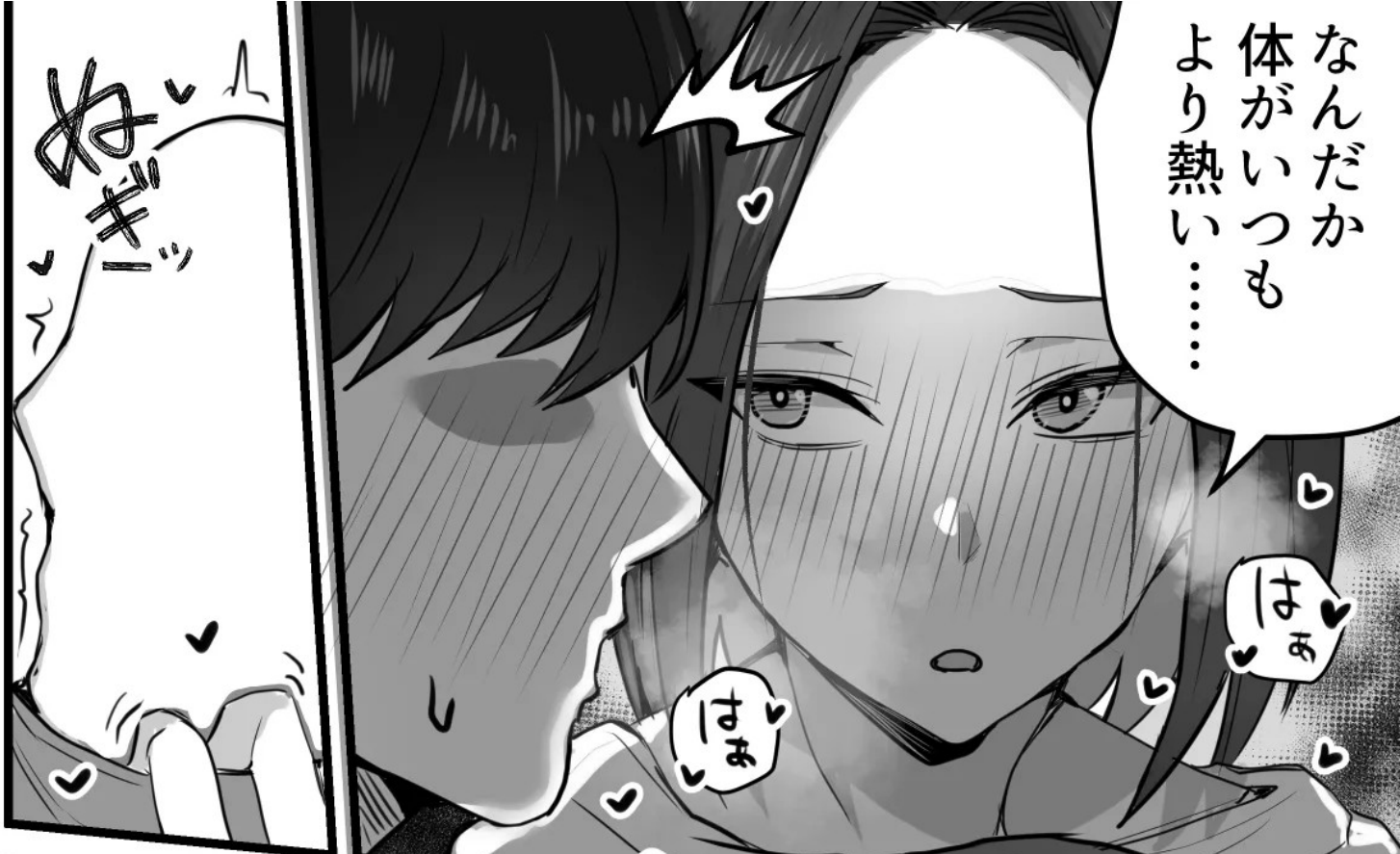
ん

ん

正太郎...

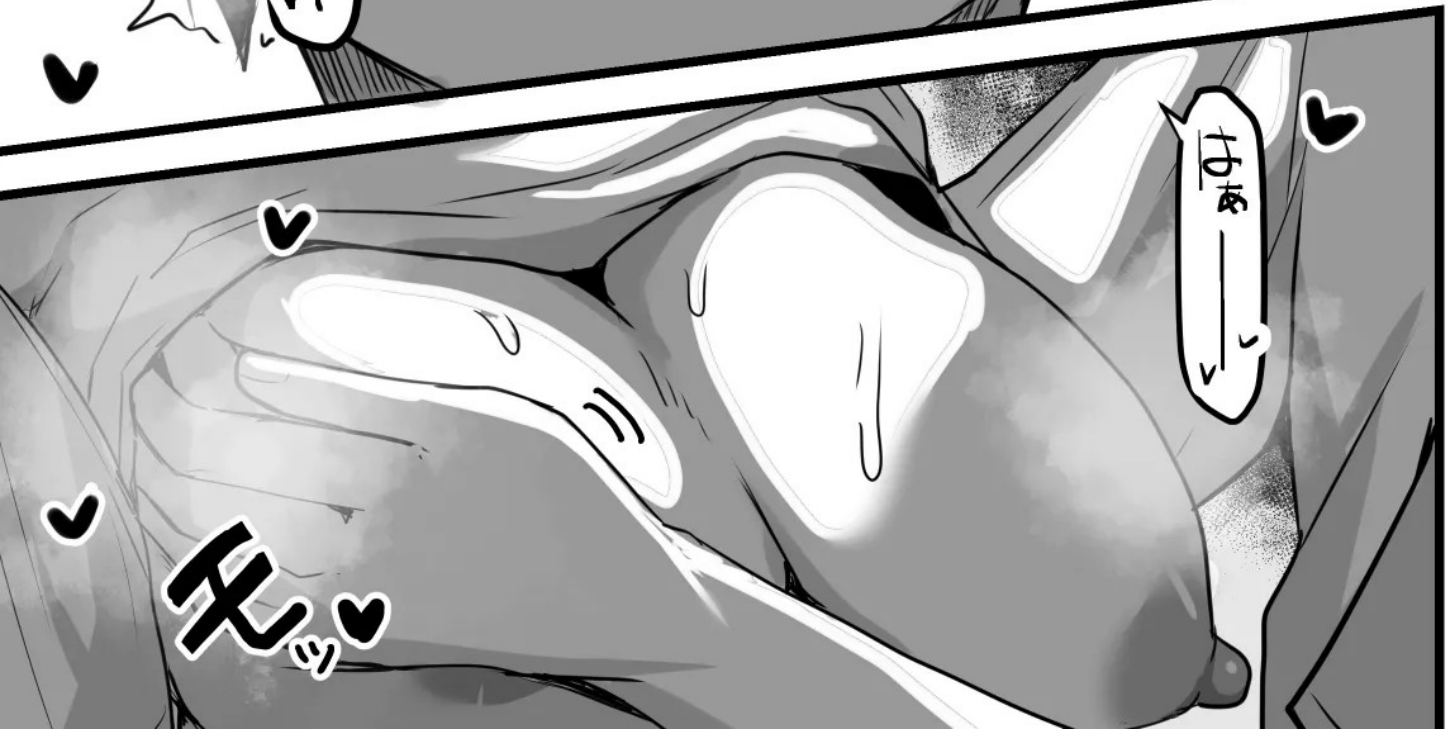
ん

なんだかも
体がいつも
より熱い……



ぽん





真紀…

まい
まい

正太郎は
私のおっぱい
大好きだよね？

いぎゅ

いぎゅ

いぎゅ



真紀、やばい……
射精する……っ

いいよ
口に出して……

正太郎の
精子飲みたい

ぐちゃぐちゃ
ぐちゃぐちゃ

真紀……

それは……っ

はあ

あ……ッ

我慢できない……
射……

はあ

だめ
射精だあ

凄い量……

あ
あ
あ

ド
ド
ド

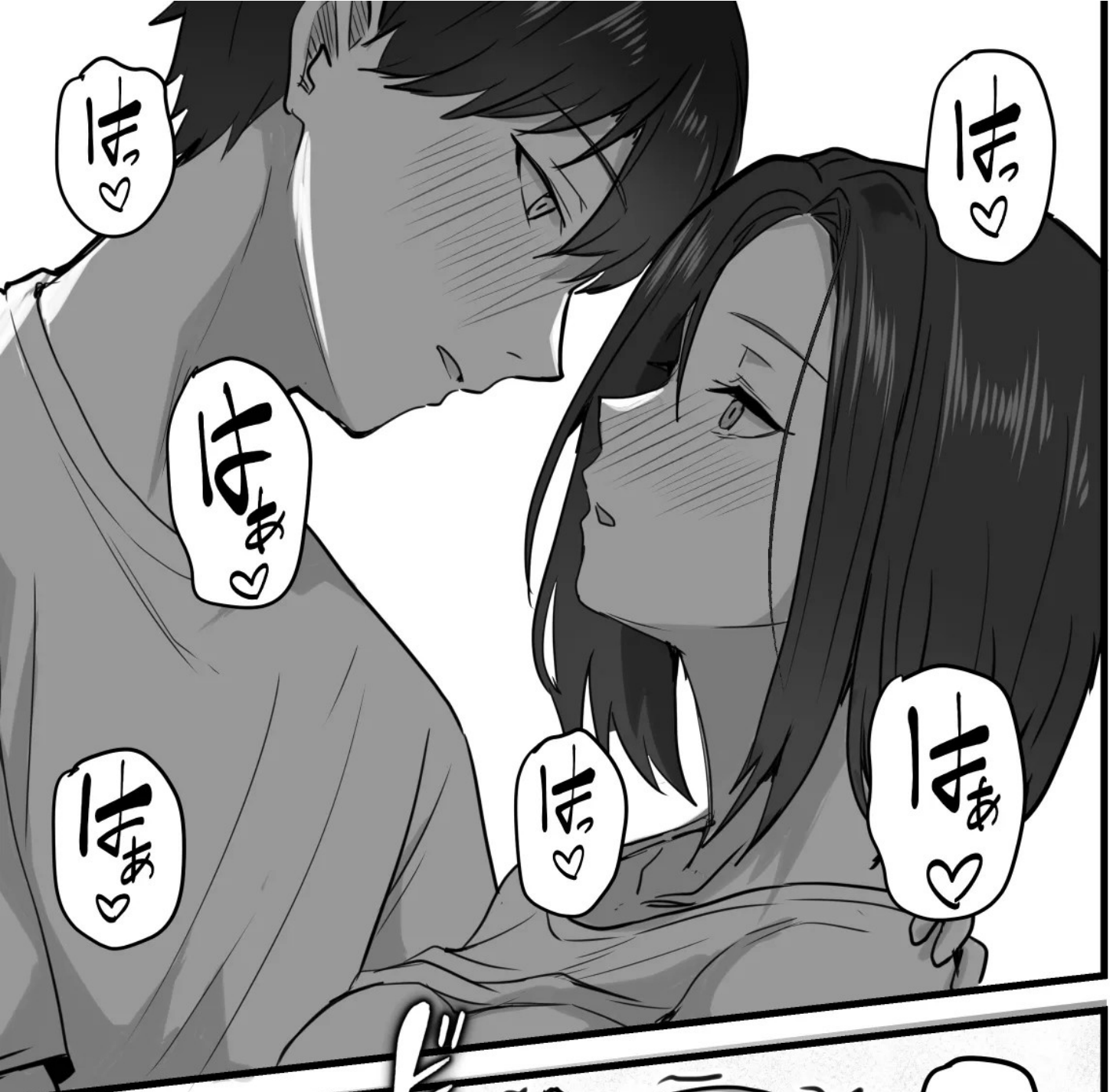
い
濃
い
お
ち
ん
ぽ
ミ
ル
ク
♥
♥
♥

じ
ゃ
じ
ゃ

ミ
ル
ク
♥
♥
♥

ミ
ル
ク
♥
♥
♥





真紀

全然おさ
勃起まんねえ





正太郎…



真紀、俺



真紀の
子どもが
ほしい

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡

はっ♡

キス……
キスしたい……

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

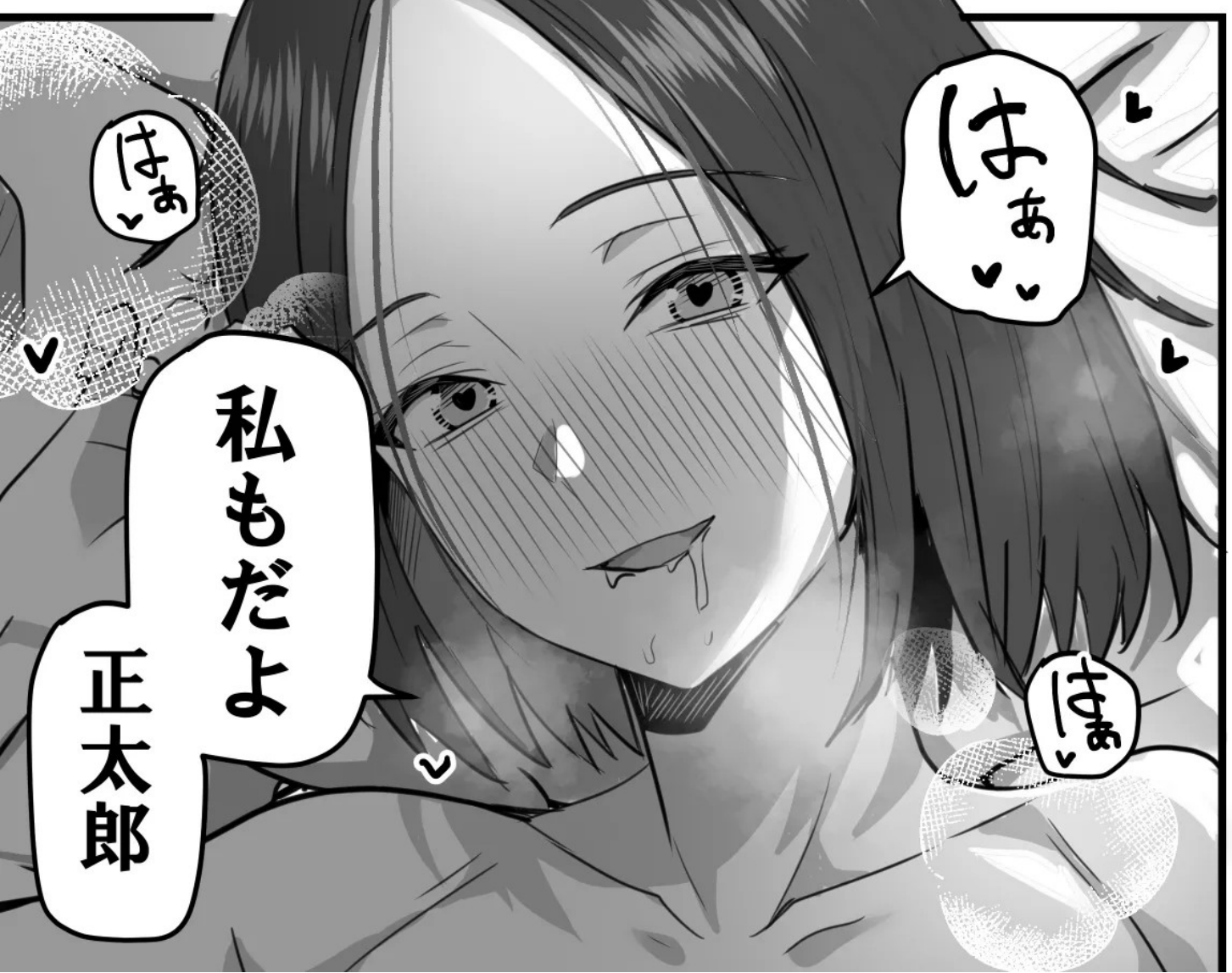
ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡

ぬちゅっ♡

はっ♡

はっ♡







母さんは
よく笑うように
なった

おはよう
勇斗



前はいつも眉間に
シワを寄せてた
気がする

僕のために
必死に働いて
ピリピリしてて……


速報 “未来企業”と称されたTachibana Industries代表
橘圭介氏、粉飾決算とインサイダー取引の疑いで逮



でも
変わったんだ




正太郎
お父さんと
出会ってから



母さんは
もうひとり
で頑張ら
なくて
よくな
った

それから
ねー



この家
なんか
いい
感じ
でしょ

これが、僕の家族。



あとがき

このたびはシリーズ第3作目をご購入いただき、誠にありがとうございました。

皆様の応援のおかげで、こうして続編をお届けすることができております。本当にありがとうございます。

今回は、第1作目にも登場した「元夫」にスポットを当てたお話となりました。

主人公・柊は、責任感が強く、他人に頼るのが苦手な女性です。その性格ゆえに、ときに過ちを犯してしまう危うさもあると感じています。

少し寝取られのような展開となり、驚かれた方もいらっしゃるかもしれませんが、彼女の葛藤や内面の揺れ動きを丁寧に描くことで、結果的により深い愛情の形を表現できればと思い、このような流れにいたしました。(お気に召さなかったら大変申し訳ないです……)

今後もタイミングを見て、新作をお届けできればと思っております。

もしお時間がありましたら、レビューやご評価をいただくと、大変励みになります。今後の創作の支えとなりますので、どうぞよろしく願いいたします。

鬼塚クリス

X : @onioni029029